

科目名 「行動心理学」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	山口慎史

学習目標 (GIO)	自分と他者の「行動」と「心理」の理解を深める。将来の歯科衛生士として、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力や、人々を健康 (well-being) へと導くための知識を、性格・動機づけ・社会・発達などのあらゆる角度から学び、その知識を習得する。
担当教員	山口慎史
教科書	授業時に適宜、資料を配布する。
参考図書	随時、紹介する。
評価方法 (EV)	評価方法：出席状況、受講態度、課題レポートにより総合的に評価する（試験は実施しない） 評価基準：授業への積極的な参加を重視する 出席および受講態度（40点）／演習（30点）／課題レポート（30点）
学生への メッセージ オフィスアワー	本講義では、「こころ」について身近な例や最新の研究を取り上げながら解説し、人との関わり方について理論的かつ具体的に言及していきます。受講者の皆さんには、本講義を通して、自分と他者の「こころ」の理解を深め、将来、専門職として繊細で誠実な心遣いができる、魅力的な人材になっていただきたいと思っています。 オフィスアワー：授業終了後

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	オリエンテーション 演習1	【授業の一般目標】 本講義の学習目標、評価基準、全体の流れを理解する。また、自分自身の「こころ」について理解を深める。 【行動目標 (SBOs)】 自分とは何か。自分の「こころ」とはどのようなものなのか。 【準備学習項目・時間】 自分がどのような人間なのか考えておくこと。 【学習方略 (LS)】 講義／演習	山口慎史
第2回 4/12	人間性の心理 (パーソナリティ)	【授業の一般目標】 一人ひとりの行動には「その人らしさ」(パーソナリティ)があり、行動を理解するために必要であることを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 パーソナリティの概念やその障害について説明できる。 【準備学習項目・時間】 性格にはどのようなものが挙げられるか考えておくこと。 【学習方略 (LS)】 講義	山口慎史
第3回 4/19	健康の心理①	【授業の一般目標】 こころの健康とは何か、健康習慣、健康行動、ストレスの観点から理解を深める。 【行動目標 (SBOs)】 健康について説明ができる。ストレスの概念を理解する。 【準備学習項目・時間】 健康とは何か、健康と病気の違いについて考えておくこと。 【学習方略 (LS)】 講義	山口慎史

第4回 4/26	健康の心理②	<p>【授業の一般目標】 こころの健康を考える上で、重要な、こころの障害や疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 こころの障害について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 ストレスは良いのか、悪いのかを考えておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山口慎史
第5回 5/10	幸福の心理	<p>【授業の一般目標】 幸福とは何か理解を深め、幸福の行動について科学していく。また、ポジティブ心理学の動向にもふれていく。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 幸福を学術的に説明ができる。フロー体験について考える。</p> <p>【準備学習項目・時間】 幸福体験について話題を挙げておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山口慎史
第6回 5/17	感情と情動の心理	<p>【授業の一般目標】 日常生活における様々な感情について理解を深める。感情のコントロール法についてふれていく。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 感情と情動の違いを説明できる。欲求について考えてみる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 感情を何とかしようとした体験を考えておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山口慎史
第7回 5/24	やる気の心理	<p>【授業の一般目標】 人が行動を起こすには、必ず動機 (モチベーション) や欲求が存在する。その仕組み、概念を理解していく。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 動機づけのメカニズムや諸理論について知る。</p> <p>【準備学習項目・時間】 モチベーションを高める、維持する方法を考えてみる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山口慎史
第8回 5/31	対人関係の心理① (自分とは何か)	<p>【授業の一般目標】 自分とは何か、どういう人間なのか、どういう行動をとる傾向があるのか、どのような心の特徴があるのかを理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 自分で自分を説明できる。自我についてふれていく。</p> <p>【準備学習項目・時間】 最近の悩みを考えてみる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山口慎史
第9回 6/7	対人関係の心理② (対人魅力)	<p>【授業の一般目標】 人との関わりの中で展開される行動には、どのような心の特徴があるのかについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 他者の特徴をどのように捉え印象を持つのか説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 どんな人に魅力を感じるのか挙げておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山口慎史
第10回 6/14	対人関係の心理③ (援助の心理) 演習2	<p>【授業の一般目標】 「助ける」「助けられる」といった行動には、どのような心の特徴があるのかについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 援助意識、援助行動、援助要請行動の説明ができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 援助した経験について話題を挙げておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義/演習</p>	山口慎史

<p>第11回 6/21</p>	<p>発達心理学</p>	<p>【授業の一般目標】 発達過程に生じる心と行動の変化と特徴について理解を深めていく。 【行動目標 (SB0s)】 各発達段階の発達課題とその特徴について説明できる。 【準備学習項目・時間】 各発達段階でどのような悩みがあるのか考えておくこと。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山口慎史</p>
<p>第12回 6/28</p>	<p>社会心理学</p>	<p>【授業の一般目標】 人は集団の中でどのように行動するのか、どのような影響を与えるのかについて考え、理解する。 【行動目標 (SB0s)】 集団が人の行動に及ぼす影響について説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯科医院ではどのような集団が理想か考えておくこと。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山口慎史</p>
<p>第13回 7/5</p>	<p>相談心理学</p>	<p>【授業の一般目標】 他者が抱えている様々な問題や気持ちの変化、障害への具体的な対応方法と支援の姿勢について理解を深めていく。 【行動目標 (SB0s)】 ロジャースのカウンセリングの原則を説明できる。 【準備学習項目・時間】 どんな相手だと相談しやすいか考えておくこと。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山口慎史</p>
<p>第14回 7/12</p>	<p>演習3 発表</p>	<p>【授業の一般目標】 1～13回の講義を念頭に、グループで協力し「理想の歯科医院」を導き出す。 【行動目標 (SB0s)】 様々な立場・分野における「心と行動」の理解に努める。 【準備学習項目・時間】 発表の準備 【学習方略 (LS)】 学生による発表</p>	<p>山口慎史</p>
<p>第15回 7/26 10:40～11:25 (7/19は休講)</p>	<p>課題レポート提出 まとめ</p>	<p>【授業の一般目標】 理想の歯科衛生士は、どのようなことができるかについて講義の復習を通して考えを深める。 【行動目標 (SB0s)】 演習1よりも客観的な「理想の歯科衛生士」を導き出す。 【準備学習項目・時間】 1～14回の授業を復習しておくこと。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山口慎史</p>

科目名 「 臨床行動科学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	伊藤 孝訓

学習目標 (GIO)	<p>歯科医療の構造は、慢性疾患，すなわち，う蝕・歯周疾患・口腔機能不全が中心である。国民が健全な生活をおくるために，より早い段階で治療を施し，重症化を防ぐという予防的役割も担っているが，過剰なまでの診療による方策ではなく，各ライフステージに応じた歯科医療のアウトカムを認識した上で，治療そのものを展開させる必要がある。現在では，患者サイドとして患者自身による健康に対する行動変容を意識すること，そして医療者は保健指導による支援が重要な役割をはたす時期を迎えていることを理解すべきである。そこで，患者の行動メカニズムを知るためには，行動科学，心理学，認知科学，コミュニケーション学，情報科学，教育学などの関連領域を統合した「臨床行動科学」を学ぶ必要がある。</p> <p>本講義は，歯科衛生士として歯科医師の活動を援助，また協働するために必要な歯科の知識・技能・態度，特に診療録の記録，歯科医療の流れ，診察の基本的な情報収集，患者心理そして患者とのコミュニケーション，さらに患者の行動変容を促す「動機づけ面接法」について修得することを目指している。</p>
担当教員	伊藤孝訓，多田充裕，内田貴之，青木伸一郎
教科書	指定なし。プリントを配布する。
参考図書	<p>「歯科医療面接アートとサイエンス」伊藤孝訓編著，砂書房</p> <p>「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓，寺中敏夫編著，クインテッセンス出版</p> <p>「歯科衛生ケアプロセス」佐藤陽子 他，医歯薬出版</p>
評価方法 (EV)	<p>試験は，定期試験のみ。</p> <p>成績評価は，試験，レポート，出席状況および講義・演習中の態度を勘案し総合的に評価する。</p>
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>時期早々と捉えがちであるが，将来なる歯科衛生士という職業を意識して，できるだけ興味を抱いて講義・演習に参加していただきたい。</p>

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10(月) 10:50-12:20	歯科医療	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために，医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 (1) 臨床行動科学を概説できる。 (2) 歯科医療の特性を説明できる。 (3) 歯科患者と医療者の関係を説明できる。 (4) プロフェッショナリズムを説明できる。 (5) 倫理的ジレンマを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 医科と歯科の専門性の違いを説明できる。(1時間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤孝訓

<p>第2回 4/17(月) 10:50-12:20</p>	<p>歯科衛生診断と歯科診断</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 歯科衛生診断と歯科診断の相違を説明できる。 (2) 歯科衛生ケアプロセスにおける歯科衛生診断の意義を説明できる。 (3) アセスメントを評価できる。 【準備学習項目】 歯科衛生士と歯科医師の違いを説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>多田充裕</p>
<p>第3回 4/24(月) 10:50-12:20</p>	<p>診療録 (POMR)</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 診療録の目的・構成を説明できる。 (2) POSの概念を説明できる。 (3) POMRについて説明できる。 (4) 診療録の基本的構成を列挙できる。 (5) 問診票の役割と意義を説明できる。 【準備学習項目】 患者データの記録の仕方を説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>多田充裕</p>
<p>第4回 5/1(月) 10:50-12:20</p>	<p>診察</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 主訴の定義を説明できる。 (2) 現病歴の定義と基本的な記載を説明できる。 (3) 既往歴・家族歴を説明できる。 (4) 現症・診査所見を説明できる。 【準備学習項目】 各種診察法を説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>内田貴之</p>
<p>第5回 5/8(月) 10:50-12:20</p>	<p>歯科患者の心理</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 歯科患者特有の心理状況を説明できる。 (2) 歯科特有のストレスを説明できる。 【準備学習項目】 歯科を訪れる患者の心理状態を説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>多田充裕</p>
<p>第6回 5/15(月) 10:50-12:20</p>	<p>コミュニケーションの基本</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) コミュニケーションスキルを説明できる。 (2) 異文化コミュニケーションを説明できる。 (3) 「聴く」スキルを説明できる。 (4) 「質問する」スキルを説明できる。 (5) 「伝える」スキルを説明できる。 【準備学習項目】 コミュニケーションの役割を説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>伊藤孝訓</p>

<p>第7回 5/22(月) 10:50-12:20</p>	<p>医療コミュニケーション</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 患者と医療者の関係を概説できる。 (2) 医療環境の特殊性を説明できる。 (3) 効果的な会話をするには、どのようなことが必要か説明できる。 (4) 非言語的コミュニケーションの種類とその効果的な活用を説明できる。 【準備学習項目】 医療現場の特殊性を説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>内田貴之</p>
<p>第8回 5/29(月) 10:50-12:20</p>	<p>医療面接の基本</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 医療面接の目的と意義を説明できる。 (2) 医療者の態度を説明できる。 (3) 来院患者における歯科教育の必要性を説明できる。 【準備学習項目】 問診と違う点を説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>伊藤孝訓</p>
<p>第9回 6/5(月) 10:50-12:20</p>	<p>メディカル・コーチング</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) メディカル・コーチングを説明できる。 (2) 「効果的な患者指導」を説明できる。 (3) コーチングのプロセスを説明できる。 【準備学習項目】 患者本位の行動を説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>内田貴之</p>
<p>第10回 6/12(月) 10:50-12:20</p>	<p>平常試験 および 解説講義</p>	<p>これまで行われた講義内容に関する形成的評価を目的とした平常試験</p>	<p>伊藤孝訓 多田充裕</p>
<p>第11回 6/19(月) 10:50-12:20</p>	<p>患者-医療者シミュレーション (1) シナリオ作成</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 患者-医療者シミュレーションを説明できる。 (2) ロールプレイの目的を説明できる。 (3) ロールプレイの有効性を説明できる。 【準備学習項目】 ロールプレイを説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 演習</p>	<p>青木伸一郎</p>

<p>第12回 6/26(月) 10:50-12:20</p>	<p>患者-医療者シ ミュレーション (2) シナリオ作成</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 情報を収集分析し、問題点を探し出すことができる。 (2) ケースに応じたシナリオを作成できる。 (3) シナリオの評価ポイントを説明できる。 【準備学習項目】 シナリオの構成を説明できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 シミュレーション演習</p>	<p>青木伸一郎</p>
<p>第13回 7/3(月) 10:50-12:20</p>	<p>患者-医療者シ ミュレーション (3) ロールプレイ練習</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 演技のポイントを説明できる。 (2) シナリオを適時修正することができる。 【準備学習項目】 演技力を概説できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 シミュレーション演習</p>	<p>青木伸一郎</p>
<p>第14回 7/10(月) 10:50-12:20</p>	<p>患者-医療者シ ミュレーション (4) ロールプレイ練習</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) ロールプレイを実施できる。 (2) ロールプレイの演技を評価できる。 【準備学習項目】 演技力を概説できる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 シミュレーション演習</p>	<p>青木伸一郎</p>
<p>第15回 7/24(月) 10:50-12:20</p>	<p>患者-医療者シ ミュレーション (5) 発表</p>	<p>【授業の一般目標】 患者中心の歯科医療を実践するために、医療者の行動基盤となる基本知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 (1) 患者心理と行動の特性を説明できる。 (2) 自己評価の重要点を概説できる。 (3) 本講義を振り返ることができる。 【準備学習項目】 説得力あるプレゼンができる。(1時間) 【学習方略 (LS)】 シミュレーション演習、プレゼンテーション</p>	<p>青木伸一郎</p>

科目名 「 保存修復学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	平山 聡司

学習目標 (GIO)	保存修復学は、主に歯の硬組織欠損や形態異常に対して人工的な材料で修復を行って歯の解剖学的形態、審美性および機能を回復する臨床科目である。日常臨床において高頻度に遭遇する疾患が治療対象となるため、臨床歯科医学の中で大切な学問のひとつである。したがって、保存修復学を通じて、歯の生物学的な知識、修復方法、修復材料および使用器材・薬剤に対する基礎的な事項を習得し、歯科診療補助が実施できる知識を身につけることが望まれる。
担当教員	平山聡司・岩井啓寿・寺中文字子
教科書	最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患「保存修復・歯内療法」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社
参考図書	第6版 「保存修復学」 千田 彰他 医歯薬出版 「歯科保存マニュアル」平井義人他 南山堂
評価方法 (EV)	平常試験（2回）の試験結果を総合して評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	専門用語や器材・薬剤の名称をできるだけ早く覚えることにより、講義の理解度が高まるので、教科書の予習・復習が大切である。また莫大な範囲を短時間で行うため、学生諸君にとっては非常に大変だと思いますが、後期から始まる臨床実習に向けて積極的に学んでいきましょう。 【保存修復】月曜日：午後5時～6時

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10	保存修復学総論1 ・う蝕の分類とその病態	<p>【授業の一般目標】 保存修復学で治療対象となる歯の硬組織欠損とその病態を診断できるようになるために、硬組織疾患の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ①保存修復学の歯科における位置づけについて説明できる。 ②保存修復学で治療の対象となる歯の硬組織疾患を列挙できる。 ③う蝕の分類とその病態について説明できる。 ④エナメル質う蝕と象牙質う蝕の進行とその特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯の組織学的特徴について理解しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	平山聡司
第2回 4/17	保存修復学総論2 ・う蝕以外の硬組織疾患の種類と病態 ・硬組織疾患の検査法	<p>【授業の一般目標】 保存修復学で治療対象となる歯の硬組織欠損とその病態を診断できるようになるために、硬組織疾患の種類と特徴、鑑別に必要な検査法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ①う蝕以外の硬組織疾患の原因とその特徴について説明できる。 ②硬組織疾患の検査法を列挙できる。 ③硬組織疾患の検査法の目的と使用する器材について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯の組織学的特徴について理解しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	平山聡司

<p>第3回 4/24</p>	<p>保存修復学総論 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窩洞 ・修復前準備 	<p>【授業の一般目標】 保存修復治療時に適切な診療補助ができるようになるために、窩洞や修復前準備について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①窩洞を構成する3要素について説明できる。 ②Blackの窩洞分類を説明できる。 ③窩洞の具備条件について説明できる。 ④修復前準備を列挙できる。 ⑤修復前準備の目的と使用器材について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 歯の硬組織疾患の種類と病態について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>平山聡司</p>
<p>第4回 5/1</p>	<p>接着性修復</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンポジットレジン修復 1 	<p>【授業の一般目標】 接着性修復であるコンポジットレジン修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、コンポジットレジンの組成、特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 ②コンポジットレジンの組成について説明できる。 ③コンポジットレジン修復の臨床手順について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 コンポジットレジンの種類と組成について復習しておこう。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岩井啓寿</p>
<p>第5回 5/8</p>	<p>接着性修復</p> <p>コンポジットレジン修復 2</p>	<p>【授業の一般目標】 接着性修復であるコンポジットレジン修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、コンポジットレジンの組成、特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コンポジットレジンの歯質接着性について説明できる。 ②コンポジットレジン修復の臨床的問題点について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 コンポジットレジンの種類と組成について復習しておこう。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岩井啓寿</p>
<p>第6回 5/15</p>	<p>接着性修復</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンポジットレジン修復 3 ・ガラスイオノマーセメント修復 	<p>【授業の一般目標】 接着性修復であるコンポジットレジン修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、コンポジットレジンの組成、特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コンポジットレジン研磨の目的について説明できる。 ②コンポジットレジン修復に使用する器材を列挙できる。 ③ガラスイオノマーセメント修復の特徴について説明できる。 ④ガラスイオノマーセメントの組成について説明できる。 ⑤ガラスイオノマーセメント修復の臨床手順について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 コンポジットレジンの種類と組成について復習しておこう。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岩井啓寿</p>
<p>第7回 5/22</p>	<p>平常試験 1 および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 保存修復学総論に関して学んだ知識を筆記試験にて確認する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>【準備学習項目・時間】 保存修復学総論について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 解説講義</p>	<p>平山聡司・ 岩井啓寿</p>

第8回 5/29	間接修復法 1	<p>【授業の一般目標】 間接修復法のうちメタルインレー修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、メタルインレー修復の特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①メタルインレー修復の特徴について説明できる。 ②メタルインレーの臨床手順について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 修復材料の種類について学んでおく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	寺中文字
第9回 6/5	間接修復法 2	<p>【授業の一般目標】 メタルインレー修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、メタルインレー修復の特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①連合印象の種類と特徴について説明できる。 ②仮封材の種類と特徴について説明できる。 ③合着用セメントの種類と特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 メタルインレー臨床術式について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	寺中文字
第10回 6/12	間接修復法 3	<p>【授業の一般目標】 セラミックインレー修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、セラミックインレー修復の特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①セラミックインレー修復の特徴について説明できる。 ②セラミックインレー修復の臨床手順について説明できる。 ③レジンコーティングについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 セラミック材料の特徴について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	寺中文字
第11回 6/19	生活歯の漂白	<p>【授業の一般目標】 審美的修復処置の中でも歯のホワイトニングを適切に行うことが出来るようになるために、歯のホワイトニングの種類、使用薬物、臨床手順、使用器材および偶発症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①歯のホワイトニングの種類と使用薬物について説明できる。 ②歯のホワイトニングの臨床手順について説明できる。 ③歯のホワイトニングに使用する器材について説明できる。 ④保存修復時の信用補助業務について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯の変色・着色の原因について学んでおく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岩井啓寿
第12回 6/26	保存修復における 歯科衛生士の役割 1	<p>【授業の一般目標】 直接修復法の診療補助を行うことができるようになるために、直接修復法の種類、臨床手順、使用器材および偶発症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①コンポジットレジン修復とガラスイオノマーセメント修復時の診療補助業務について説明できる。 ②診療に必要な器具器材を列挙できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 コンポジットレジン修復とガラスイオノマーセメント修復の臨床手順と使用器材について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	寺中文字

<p>第13回 7/3</p>	<p>保存修復における 歯科衛生士の役割 2</p>	<p>【授業の一般目標】 間接修復法の診療補助を行うことができるようになるために、間接修復法の種類、臨床手順、使用器材および偶発症について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①メタルインレー修復とセラミックインレー修復時の信用補助業務について説明できる。 ②診療に必要な器具器材を列挙できる。 【準備学習項目・時間】 メタルインレー修復とセラミックインレー修復の臨床手順と使用器材について復習しておく。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>寺中文字子</p>
<p>第14回 7/10</p>	<p>平常試験2および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 保存修復学総論に関して学んだ知識を筆記試験にて確認する。 【行動目標 (SB0s)】 【準備学習項目・時間】 保存修復学(各論)、間接修復・ホワイトニングおよび診療補助について復習をしておく。 【学習方略 (LS)】 解説講義</p>	<p>岩井啓寿・ 寺中文字子</p>
<p>第15回 7/24</p>	<p>まとめ講義</p>	<p>【授業の一般目標】 保存修復学総論および各論で学んだことを再確認するために、問題演習を通じて知識の確認を行う。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯の硬組織疾患について説明できる。 ②修復前準備について説明できる。 ③直接修復法の特徴と臨床手順について説明できる。 ④間接修復法の特徴と臨床手順について説明できる。 【準備学習項目・時間】 コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復および間接修復法の臨床手順と使用器材について復習しておく。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>平山聡司</p>

科目名 「 歯内療法学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	岡部 達

学習目標 (GIO)	歯内療法学は歯の硬組織疾患から継発して起こる歯髄および根尖性歯周疾患を対象として、その予防と治療を行うことを目的としている。疾患と治療法を関連付けて理解するためには、歯内療法学の基本概念、各種処置法の目的、術式、使用器具、使用薬剤等の基礎的事項を習得し、さらに歯科衛生士としての歯科臨床に必要な知識を育成する。
担当教員	岡部 達
教科書	最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患「保存修復学・歯内療法」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社
参考図書	第3版 「エンドドンティクス」 須田 英明他 永末書店
評価方法 (EV)	定期試験ならびに出席、授業態度等により総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯髄および根尖性歯周疾患は腫れや痛みを伴うことが多く、患者さんにとって非常に辛い疾患であり、またその疾患に侵された歯を保存し機能させるための基本となる学問です。日常臨床においても頻繁に行われる治療法であり、後期から始まる臨床実習に向けて積極的に学んでいきましょう。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10	歯内療法の目的	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の補助ができるようになるために、歯内療法の目的について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ①臨床歯科医学における歯内療法の位置づけを説明できる。 ②歯内療法学の目的を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯の構造を説明できる。 歯周組織の構造を説明できる。・50分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達
第2回 4/17	歯の形態・歯髄の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の補助ができるようになるために、歯内療法の目的について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ①歯髄の構造と機能を説明できる。 ②歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯の構造を説明できる。 歯周組織の構造を説明できる。・50分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達

<p>第3回 4/24</p>	<p>歯内療法で扱う疾患</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄疾患、根尖性歯周疾患について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄疾患について説明できる。 ②根尖性歯周疾患について説明できる。 ③歯髄疾患、根尖性歯周疾患の臨床症状について説明できる。 【準備学習項目・時間】 一般炎症の徴候を説明できる。・50分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第4回 5/1</p>	<p>歯髄保存療法(1)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄保存療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄保存療法の適応症を説明できる。 ②歯髄鎮静法の術式・薬剤を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄炎の徴候を説明できる。・50分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第5回 5/8</p>	<p>歯髄保存療法(2)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄保存療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄保存療法の適応症を説明できる。 ②覆髄法の術式・薬剤を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄炎の徴候を説明できる。・50分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第6回 5/15</p>	<p>歯髄除去療法(1)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄除去療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄除去療法の適応症を説明できる。 ②生活歯髄切断法の術式・薬剤を説明できる。 ③生活歯髄切断法の治癒機転を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄炎の徴候を説明できる。・50分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第7回 5/22</p>	<p>歯髄除去療法(2)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄除去療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄除去療法の適応症を説明できる。 ②抜髄法の術式・薬剤を説明できる。 ③抜髄法の治癒機転を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄炎の徴候を説明できる。・50分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>

第8回 5/29	感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、感染根管治療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①感染根管の成立について説明できる。 ②感染根管治療の目的について説明できる。 ③感染根管治療に用いる薬剤について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。・50分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達
第9回 6/5	根管充填	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、根管充填について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①根管充填の目的を説明できる。 ②根管充填の術式を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠・歯根の形態を説明できる。・50分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達
第10回 6/12	根未完成歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、根未完成歯の歯内療法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①根未完成歯の特徴を説明できる。 ②アペキシゲネーシスを説明できる。 ③アペキシフィケーションを説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎を説明できる。・50分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達
第11回 6/19	外科的歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、歯内療法における偶発症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①歯内療法における偶発症の種類を説明できる。 ②歯内療法における偶発症の対応法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。・50分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達
第12回 6/26	歯内療法における偶発症	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、歯内療法における偶発症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ①歯内療法における偶発症の種類を説明できる。 ②歯内療法における偶発症の対応法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。・50分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達

<p>第13回 7/3</p>	<p>歯内治療を行うための前準備</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯内療法を行うための前準備について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①ラバーダム防湿法の目的を説明できる。 ②ラバーダム防湿法に用いる器具法を説明できる。 ③隔壁法について説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄・根尖性歯周疾患の原因について説明できる。・50分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第14回 7/10</p>	<p>歯内療法に用いる器具・薬剤 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯内療法に用いる器具・薬剤について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯内療法で用いる器具の種類と管理法を説明できる。 ②歯内療法で用いる薬剤の種類と管理法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 器具の消毒・滅菌法を説明できる。・50分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第15回 7/24</p>	<p>歯内療法に用いる器具・薬剤 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯内療法に用いる器具・薬剤について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯内療法で用いる器具の種類と管理法を説明できる。 ②歯内療法で用いる薬剤の種類と管理法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 器具の消毒・滅菌法を説明できる。・50分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>

科目名 「 歯周治療学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	小方頼昌

学習目標 (GIO)	歯周治療は、歯科治療の基本であり、保存、補綴、矯正治療を行う場合においても、歯周治療が終了した健康な歯周組織でなければ治療は成功しない。また、安定した咬合機能を営むためには、歯周組織が健康である必要がある。歯周治療終了後、回復した口腔機能を長い期間に渡り維持するためには、患者の自己管理を中心としたメンテナンスとサポーターセラピーを継続して行うことが重要である。歯周治療学では、まず、正常歯周組織を理解し、その病因、臨床像を正しく認識し、その治療法を学ぶ。また、予防、サポーターセラピー、メンテナンスの違いを理解し、歯周治療を総合的に学ぶことを目的とする。
担当教員	小方頼昌, 中山洋平, 高井英樹, 目澤優, 加藤彩子
教科書	最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 医歯薬出版
参考図書	臨床歯周病学 第2版 医歯薬出版, ザ・ペリオドントロジー 第2版 永末書店 失敗しない歯周外科 クインテッセンス出版
評価方法 (E V)	出席, 平常試験および筆記試験によって評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	毎回の授業を理解して、次の授業に望むこと。分からない部分は、活発に質問すること。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	歯周病の疫学 歯周病の罹患 状況	【授業の一般目標】 疫学的検索による歯周病の罹患状況を理解し、他の歯科疾患の罹患率と比較する。 疫学的評価法を学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科の2大疾患と歯周病の罹患状況を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周病と他の歯科疾患の罹患率を比較する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義	高井
第2回 4/13	歯周病の病因 (1) プラーク, バイオフィルムと歯石, 歯周病における細菌の役割, 病因メカニズム	授業の一般目標】 歯周病と歯周病原菌 (バイオフィルム) の関係、炎症との関係を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. プラークと歯石の構造と臨床的意味を理解する。 【準備学習項目・時間】 プラークと歯石, 歯周病原菌について予習する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義	加藤

<p>第3回 4/20</p>	<p>総論 歯周組織の構造と機能</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病と歯周治療について学ぶ。 正常歯周組織を理解する。 (解剖学的, 生理学的, 生化学的特徴) 行動目標 (SBOs)] 1. 正常歯周組織の各部の名所を説明できる。 【準備学習項目・時間】 基礎科目で学習した、歯周組織の解剖学的、生理的、生化学特徴を復習する (60分)。 【学習方略 (LS)] 講義</p>	<p>小方</p>
<p>第4回 4/27</p>	<p>歯周病の病因 (2) 歯周病と全身疾患、 遺伝との関係、 リスクファクターについて</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病と全身疾患、 遺伝との関係、 リスクファクターについて学ぶ。 【行動目標 (SBOs)] 1. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周病と全身疾患との関係を調べる (60分)。 【学習方略 (LS)] 講義</p>	<p>目澤</p>
<p>第5回 5/11</p>	<p>歯周病の診査と診断 (1) 歯周病の臨床像 歯周病の分類</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病の臨床所見を理解する。、 歯周病の分類を学ぶ。 行動目標 (SBOs)] 1. 歯周病の症状と特徴を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周病の臨床像について予習をする (60分)。 【学習方略 (LS)] 講義</p>	<p>加藤</p>
<p>第6回 5/18</p>	<p>歯周病の診査と診断 (2) 歯周病の病態</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周疾患の病態を理解する。 歯肉炎と歯周炎の違いを理解する。 【行動目標 (SBOs)] 1. 歯周病の臨床所見と分類を説明できる。 【準備学習項目・時間・時間】 歯周病の臨床所見を予習する (60分)。 【学習方略 (LS)] 講義</p>	<p>中山</p>
<p>第7回 5/25</p>	<p>歯周病の診査と診断 (3) 歯周組織検査 治療計画の立案 応急処置</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解する。歯周病検査の意義と内容を説明できる。歯周病検査の結果を基に、診断および治療計画の立案ができる。 【行動目標 (SBOs)] 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査 (基本検査、精密検査) の項目を説明できる。 【準備学習項目】 歯周治療の流れについて予習を行う (60分)。 【学習方略 (LS)] 講義</p>	<p>中山</p>

<p>第8回 6/1</p>	<p>歯周基本治療 (1) 歯周基本治療の種類</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療とはなにか？ 歯周基本治療で行う項目について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 歯周基本治療の種類を列挙し、その目的を説明できる。 【準備学習項目】 歯周基本治療の種類について予習をする (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>目澤</p>
<p>第9回 6/8</p>	<p>歯周基本治療 (2) プラークコントロール スケーリング</p>	<p>【授業の一般目標】 プラークコントロール、ブラッシング指導について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 口腔衛生指導に重要性を理解する。 【準備学習項目・時間】 口腔清掃指導の目的を再確認する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>加藤</p>
<p>第10回 6/15</p>	<p>歯周基本治療 (3) スケーリング・ ルートプレーニング</p>	<p>【授業の一般目標】 スケーリング・ルートプレーニング (SRP) で使用する器具について学ぶ。 スケーリングとルートプレーニングの違いについて学ぶ。 器具の研磨法を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学習項目・時間】 スケーラーの種類とその特徴を再確認する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中山</p>
<p>第11回 6/22</p>	<p>歯周外科治療 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と術式、適応について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 2. 歯周組織再生誘導の適応を説明できる。 3. 歯周形成手術の適応を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を再確認する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>高井</p>
<p>第12回 6/29</p>	<p>歯周外科治療 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療で使用する器具の種類とその使用法について理解する。 歯周外科治療の準備および後片付け、滅菌、ドレーピングについて学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯周外科治療の種類とそれぞれの使用器具について説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を再確認する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>高井</p>

<p>第13回 7/6</p>	<p>歯周外科治療 (3) 咬合性外傷とその 治療法 歯内歯周病変とそ の治療法</p>	<p>【授業の一般目標】 咬合性外傷の原因と病変の進行について学ぶ。歯周治療と補綴、矯正治療との関係について学ぶ。歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、治療方法、知覚過敏処置について学ぶ。歯内歯周病変について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合性外傷、歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、知覚過敏処について学ぶ。 2. 歯内歯周病変について学ぶ。 【準備学習項目・時間】 咬合性外傷、歯の動揺、歯根露出、知覚過敏および歯内歯周病変について予習をする (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小方</p>
<p>第14回 7/13</p>	<p>歯周外科治療 (4) 分岐部病変とその 治療法</p>	<p>【授業の一般目標】 根分岐部病変の原因と治療について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 根分岐部病変と歯内歯周病変の分類について説明できる。 【準備学習項目・時間】 根分岐部病変の分類を予習する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>目澤</p>
<p>第15回 7/20</p>	<p>ペリオドンタルサ ポートィブセラ ピーとメインテナ ンス 歯周治療のまとめ</p>	<p>【授業の一般目標】 ペリオドンタルサポートィブセラピーとメインテナンスの違いについて理解する。リコールの重要性について理解する。歯周治療の全体像を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 ペリオドンタルサポートィブセラピーとメインテナンスの違いについて説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周治療の全体像を再復習する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小方</p>

科目名 「 歯科補綴学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	河相 安彦

学習目標 (GIO)	歯の欠如や歯列の欠損の補綴物、補綴物の管理や清掃法、補綴的介入の功罪、身体機能との関係を理解するために、歯科衛生士として求められる補綴学の知識を学び、補綴治療が口腔と全身の機能、さらに心の健康との関連を習得する。
担当教員	クラウンブリッジ補綴学： 小林 平、 田中 孝明 有床義歯補綴学講座： 中田 浩史
教科書	新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学 (クインテッセンス出版株式会社)
参考図書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 (医歯薬出版)、補綴診療補助 (書林)、クラウンブリッジ実習マニュアル臨床編 (医歯薬出版)、小歯科カラーアトラスクラウンブリッジ補綴学 (学建書院)、パーシャルデンチャーテクニック第5版 (医歯薬出版)、歯学生のパーシャルデンチャー (医歯薬出版)、図説無歯顎補綴学 (学建書院)
評価方法 (EV)	平常試験－1回目：20%、平常試験－2回目：20%、定期試験：60%の合計で評価、また毎回の授業における予習・復習・国家試験用の歯科補綴学まとめノートの作成を努め、平常(1・2回目)試験日にノートの提出によるチェック、さらには出席状況や履修態度を含めた総合的評価によって決定する。
学生への メッセージ オフィスアワー	補綴物の材料や製作方法や術式だけではなく、患者に対する口腔衛生、機能管理の重要性、補綴的介入がもたらす医学的利益と為害性にも目を向け、歯科補綴学の理解を深めて欲しい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/11 (火)	補綴治療における 診療補助 診療時の共同動作 補綴治療に使用する 印象材、ワックス、 セメントおよび石膏 などの材料について	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴治療に使用機材と材料(印象材、セメント、石膏等)の使用法およびその特性について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 歯科診療の補助と歯科診療の介助の違いを述べる事が出来る。 フォーハンドシステムの基本動作を説明できる。 診療に応じた器具の受け渡しについて説明することができる。 診療に応じたバキューム操作について説明することができる。 診療補助時に各器材と材料の使用法および特性について説明することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 教科書より歯科補綴治療における診療補助および材料について学習しておく。・1時間</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p>	中田浩史

<p>第2回 4/18 (火)</p>	<p>歯科補綴治療の意義と目的 補綴治療における診療補助 歯科補綴治療の基礎知識</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学で補綴治療の意義と目的を理解する。適切な補綴治療の診療補助を行うための基礎知識を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科補綴治療の意義と目的を理解することができる。 歯科補綴治療における歯科衛生士の業務を理解することができる。 歯列、咬合位、不正咬合を起こす要因および予防可能な要因について理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より歯科補綴治療の特徴と基礎知識を学習しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小林 平</p>
<p>第3回 4/25 (火)</p>	<p>歯科補綴治療の基礎知識 顎関節とその異常 CAD/CAMシステムの特徴</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学で補綴治療の基礎知識を理解する。生体における顎関節構造、下顎運動および咬合に関する基礎知識を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 咬合とその関連事項について理解することができる。 下顎運動の診査と記録方法について理解することができる。 顎関節の分類とその異常について理解することができる。 CAD/CAMの特徴と臨床手順について理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より顎関節構造、下顎運行および咬合の特徴の基礎知識を学習しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小林 平</p>
<p>第4回 5/2 (火)</p>	<p>クラウン (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるクラウン治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 補綴装置の種類と適応を説明できる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 クラウンの臨床ステップおよび技工操作を理解することができる。 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 支台築造の種類と特徴・適応を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書よりクラウンの種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>田中 孝明</p>
<p>第5回 5/9 (火)</p>	<p>クラウン (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるクラウン治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 咬合採得の目的と方法および材料を理解することができる。 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 仮着・装着の材料と方法を理解することができる。 クラウンの修理、除去を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書よりクラウンの種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>田中 孝明</p>

<p>第6回 5/16 (火)</p>	<p>ブリッジ</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるブリッジ治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ブリッジの構成と特徴を理解することができる。 支台装置とポンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。 ブリッジの臨床ステップの概要を理解することができる。 ブリッジの修理、除去を理解することができる。 クラウンとブリッジで装着後の注意、口腔清掃指導を述べることができる。 【準備学習項目・時間】 教科書よりブリッジの種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 孝明</p>
<p>第7回 5/23 (火)</p>	<p>平常試験および解説講義 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 第1回から第6回までの授業内容から出題 (国家試験過去問の改変) 歯科補綴学まとめノートの提出 平常試験の解説 【行動目標 (SB0s)】 正解した問題は理解を深め、間違えた問題に対しては更なる学習により理解を深める。 【準備学習項目・時間】 第1回から第6回までの授業内容について復習をしておく。・6時間 【学習方略 (LS)】 試験、解説</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第8回 5/30 (火)</p>	<p>全部床義歯 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 全部床義歯の適応と目的を理解することができる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 全部床義歯の臨床ステップのおよび技工操作を理解することができる。 全部床義歯の構成要素 (義歯床、人工歯) を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より全部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第9回 6/6 (火)</p>	<p>全部床義歯 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 咬合採得の目的と方法および材料を理解することができる。 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 排列および試適を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より全部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>

<p>第10回 6/13 (火)</p>	<p>全部床義歯 (3)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるようになるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 全部床義歯の装着と調整について理解することができる。 全部床義歯のリライン、リベースおよび修理を理解することができる。 装着後の注意、義歯の管理および口腔清掃指導を述べることができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より全部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第11回 6/20 (火)</p>	<p>局部床義歯 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における局部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順及び使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 局部床義歯の適応と目的を理解することができる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 局部床義歯の臨床ステップおよび技工操作を理解することができる。 局部床義歯の分類 (部位、Kennedy、欠損様式および負担様式) を理解することができる。 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書より局部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第12回 6/27 (火)</p>	<p>局部床義歯 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における局部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順及び使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 咬合採得の目的と方法および材料を理解することができる。 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 局部床義歯の構成要素 (義歯床、人工歯、連結子、支持装置 (レスト)、維持装置) を理解することができる。 排列および試適を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より局部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第13回 7/4 (火)</p>	<p>局部床義歯 (3)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における局部床義歯治療で適切な診療補助が行えるようになるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 局部床義歯の装着と調整について理解することができる。 局部床義歯の修理を理解することができる。 装着後の注意、義歯の管理および口腔清掃指導を述べることができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より局部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>

<p>第14回 7/11 (火)</p>	<p>特別な名称をもつ義歯 義歯の修理、ろう着および調整 在宅訪問診療と口腔衛生指導 (補綴関連)</p>	<p>【授業の一般目標】 補綴治療で適切な診療補助が行えるために、種類、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 本義歯、顎義歯、即時義歯および治療義歯等の特別な名称を持つ義歯について目的と特徴について理解することができる。 アタッチメントおよびインプラントを応用した義歯について理解することができる。 在宅訪問診療と口腔衛生指導を述べるることができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より全部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第15回 7/18 (火)</p>	<p>平常試験および解説講義 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 第8回から第14回までの授業内容から出題 (国家試験過去問の改変) 歯科補綴学まとめノートの提出 平常試験の解説 【行動目標 (SBOs)】 正解した問題は理解を深め、間違えた問題に対しては更なる学習により理解を深める。 【準備学習項目・時間】 第8回から第14回までの授業内容について復習をしておく。・6時間 【学習方略 (LS)】 試験、解説</p>	<p>中田 浩史</p>

「 口腔外科学・インプラント学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	濱野美緒、井下田繁子

学習目標 (GIO)	口腔外科処置、インプラント治療の診療補助・介補ができるようになるために口腔外科で扱う疾患や手術とインプラント治療の基本を理解する。
担当教員	濱野美緒、井下田繁子
教科書	①歯科衛生士講座 歯科衛生士のための口腔外科学 (古森孝英 編著、永末書店) ②歯科衛生士が知っておきたい よくわかる口腔インプラント (松浦正朗 矢島安朝 編 医歯薬出版株式会社)
参考図書	なし
評価方法 (EV)	中間試験 1 回と期末試験および授業態度をもって判定する。 中間試験は神経疾患までの範囲。進行状況により日程は変更されます。
学生へのメッセージ オフィスアワー	①口腔外科を好きになることは、基礎疾患など様々な問題を抱えた患者への取り組みの第一歩です。 ②口腔インプラント治療の現場で、歯科衛生士が対応する場面が多くなりました。特にメンテナンスにおいて大きな役割を担っています。インプラント治療に必要な歯科医学的な知識を学び、将来口腔インプラント治療の提供に貢献できるよう学習してください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第 1 回 4/11 (火)	口腔外科総論 先天異常と発育異常	【授業の一般目標】 先天異常と発育異常について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 口腔の先天異常を説明できる。 先天異常の種類を説明できる。 口腔の発育異常を説明できる。 【準備学習項目】 事前に教科書の先天異常と発育異常について熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義	濱野 美緒
第 2 回 4/18 (火)	顎顔面の損傷	【授業の一般目標】 顎顔面の損傷について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 外傷の種類を説明できる。 骨折の特徴を説明できる。 外傷の治療法を説明できる。 【準備学習項目】 事前に教科書の顎顔面の外傷について熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義	濱野 美緒
第 3 回 4/25 (火)	口腔粘膜疾患	【授業の一般目標】 口腔粘膜疾患について説明できるようになるために学習する。 【行動目標 (SBOs)】 口内炎、水疱疾患、紅斑とびらんと潰瘍を理解する。 【準備学習項目】 事前に教科書の粘膜疾患について熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義	濱野 美緒

第4回 5/2 (火)	炎症	<p>【授業の一般目標】 炎症および炎症の波及について説明できるようになるために学習する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 顎骨、軟組織の炎症を理解する。 炎症の波及を理解する。 骨髄炎・上顎洞炎を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 事前に教科書の炎症の項目について熟読する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	濱野 美緒
第5回 5/9 (火)	嚢胞	<p>【授業の一般目標】 顎骨、軟組織に発生する嚢胞を理解するために学習する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 顎骨に発生する嚢胞を説明できる。 軟組織に発生する嚢胞を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 事前に教科書の嚢胞の項目について熟読する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	濱野 美緒
第6回 5/16 (火)	良性腫瘍 悪性腫瘍	<p>【授業の一般目標】 口腔に発生する腫瘍を理解するために学習する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 良性腫瘍、腫瘍類似疾患を理解する。 悪性腫瘍を理解する。 舌癌を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 事前に教科書の良性・悪性腫瘍の項目について熟読する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	濱野 美緒
第7回 5/23 (火)	唾液腺疾患 顎関節疾患	<p>【授業の一般目標】 唾液腺疾患と顎関節疾患を理解するために学習する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 口腔領域の唾液腺疾患を理解する。 唾石症を理解する。 顎関節疾患について理解する。 顎関節症を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 事前に教科書の唾液腺疾患・顎関節疾患の項目について熟読する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	濱野 美緒
第8回 5/30 (火)	神経疾患	<p>【授業の一般目標】 顎顔面領域の神経疾患を理解するために学習する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 三叉神経痛について説明できる。 顔面神経麻痺について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 事前に教科書の神経疾患の項目について熟読する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	濱野 美緒
第9回 6/6 (火)	血液疾患 中間試験 (50分)	<p>【授業の一般目標】 血液疾患を理解するために学習する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 貧血、白血病、血友病について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 事前に教科書の血液疾患の項目について熟読する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	濱野 美緒

<p>第10回 6/13 (火)</p>	<p>口腔インプラント学 の 基礎とインプラント 治療の特徴</p>	<p>【授業の一般目標】 インプラント治療を理解するために、インプラントの特徴を知る。 【行動目標 (SB0s)】 口腔インプラントの歴史を説明する。 インプラントの基本構造について説明する。 インプラント治療の利点・欠点、適応症と禁忌症、リスクファクターを説明する。 インプラント材料と生体反応、インプラント周囲組織と歯周組織の違い、生理学的特徴を説明する。 【準備学習項目】 患者へインプラント治療の概要を説明するために必要な情報収集、診察・検査の項目について教科書を熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	<p>井下田繁子</p>
<p>第11回 6/20 (火)</p>	<p>インプラント治療の ための検査・治療計 画</p>	<p>【授業の一般目標】 インプラント治療のための検査・治療計画を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 埋入時期と治療期間を説明する。 インプラント治療に必要な診査を説明する。 診断用ガイドプレートの意義を説明する。 【準備学習項目】 治療計画の立案とインフォームドコンセントの項目について教科書を熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	<p>井下田繁子</p>
<p>第12回 6/27 (火)</p>	<p>インプラント手術</p>	<p>【授業の一般目標】 安全にインプラント手術を行うために必要な知識を身につける。 【行動目標 (SB0s)】 手術用ガイドプレートの意義を説明する。 インプラント治療に必要な局所解剖を説明する。 インプラント外科手術の術式、関連手術を説明する。 インプラント手術及に関する合併症を説明する。 【準備学習項目】 インプラント手術、インプラント関連手術の項目について教科書を熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	<p>井下田繁子</p>
<p>第13回 7/4 (火)</p>	<p>インプラント補綴</p>	<p>【授業の一般目標】 適切なインプラント補綴を行う為に必要な知識を身につける。 【行動目標 (SB0s)】 インプラントの補綴術式を説明する。 インプラント上部構造の種類・固定方法を説明する。 インプラント補綴処置に関する合併症を説明する。 【準備学習項目】 インプラント補綴の項目について教科書を熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	<p>井下田繁子</p>

<p>第14回 7/11 (火)</p>	<p>インプラント治療の 流れ</p>	<p>【授業の一般目標】 インプラント治療を行う為に外科処置から補綴処置までの治療手順、必要な器具について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 外科処置から補綴処置装着に至るインプラント治療の流れを説明する。 【準備学習項目】 インプラント手術、インプラント補綴の項目について教科書を熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	<p>井下田繁子</p>
<p>第15回 7/18 (火)</p>	<p>インプラントの メンテナンス</p>	<p>【授業の一般目標】 インプラント治療後のメンテナンスについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 メンテナンスの方法を説明する。 インプラント周囲炎について説明する。 インプラントの維持療法、支持療法について説明する。 【準備学習項目】 メンテナンスの項目について教科書を熟読する。 【学習方略 (LS)】 教室にてマルチメディアを使った講義</p>	<p>井下田繁子</p>

科目名 「 小児歯科学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	清水 武彦

学習目標 (GIO)	小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。小児歯科診療に求められる歯科衛生士業務を実践できるようになるために、予防教育および包括的な診療補助について理解する。
担当教員	伊藤 龍朗, 小川 奈保
教科書	最新歯科衛生士教本 小児歯科学 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版
参考図書	小児の口腔科学 第3版 前田隆秀 他 学建書院
評価方法 (E V)	前期期間最後に行う平常試験 (80%) と講義中の態度 (出席状況を含む) (20%) によって評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	治療内容により細分化された他科とは異なり、「小児歯科」という形で時間軸によって分類された特殊な科目です。そのため包括的な歯科医療の知識が必要となり、予習・復習が欠かせません。積極的に学びましょう。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5 (水)	小児歯科学概論	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児と歯科医療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児歯科学とはどのような学問であり、臨床であるかを説明できる。 2. 小児歯科の目的を説明できる。 3. 発達過程と口腔の変化を説明できる。 4. 小児歯科と歯科衛生士の役割について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 小児歯科学概論 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗
第2回 4/12 (水)	小児の発育 1 I 心身の発育	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、心身の発育について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発育の概念と分類および発育状態評価を説明できる。 2. 生理的年齢を説明できる。 3. 器官の発育および精神発達を説明できる。 4. 小児の生理的特徴を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 心身の発育, 小児の生理的特徴 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗
第3回 4/19 (水)	小児の発育 2 II 歯の発育と異常 III 歯列・咬合の発育と異常	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、歯・歯列・咬合の発育と異常について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の発育段階について説明できる。 2. 歯の発育時期と形成障害を説明できる。 3. 歯の萌出とその異常を説明できる。 4. 歯列および咬合の異常を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 顔面頭蓋の発育, 歯の発育とその異常 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗

第4回 4/26 (水)	乳歯・永久歯の特徴と齲蝕	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、乳歯・永久歯の特徴と齲蝕について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯の解剖学的特徴と齲蝕を説明できる。 2. 幼若永久歯の解剖学的特徴と齲蝕を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯の発育とその異常, 小児にみられる齲蝕 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	小川 奈保
第5回 5/10 (水)	小児の歯周疾患・軟組織疾患	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の歯周疾患・軟組織疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児にみられる歯周疾患を説明できる。 2. 小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 小児の歯科疾患 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	小川 奈保
第6回 5/17 (水)	小児期の特徴と歯科的問題点 小児歯科診療体系の流れ	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児歯科診療体系について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児期の特徴と歯科的問題点を説明できる。 2. 小児歯科診療とその特徴を説明できる。 3. 小児歯科治療における原則を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 小児歯科における診療体系 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	小川 奈保
第7回 5/24 (水)	診療補助1 診療補助と歯科衛生士	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、診療補助の原則について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児歯科治療における原則を説明できる。 2. 診察・検査・診断について説明できる。 3. 小児歯科における麻酔法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 小児歯科における診療体系 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	小川 奈保
第8回 5/31 (水)	診療補助2 保存修復	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の保存修復について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ラバーダム防湿について説明できる。 2. 小児の歯冠修復法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 保存修復 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	小川 奈保
第9回 6/7 (水)	診療補助3 歯内療法	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の歯内療法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 乳歯の歯内療法を説明できる。 2. 幼若永久歯の歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯内療法 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗

第10回 6/14 (水)	診療補助4 外科処置	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の外科処置について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳歯抜歯の適応症を説明できる。 2. 乳歯・幼若永久歯の外傷を説明できる。 3. 小児に対する薬物処方と薬物療法を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 小児の外科的処置, 外傷の処置 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗
第11回 6/21 (水)	小児の対応法 児童虐待	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、小児の対応法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患児・保護者と歯科医師・歯科衛生士との関係を説明できる。 2. 診療室の小児の態度と行動を説明できる。 3. 年齢別にみた小児の行動と対応法を説明できる。 4. 歯科治療時の対応法を説明できる。 5. 障害児の歯科治療を説明できる。 6. 児童虐待を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 小児歯科における患児との対応法, 障害児の歯科治療, 児童虐待 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗
第12回 6/28 (水)	齲蝕予防1 I 口腔清掃指導 II 食生活指導	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、齲蝕予防について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔清掃指導について説明できる。 2. 食生活指導について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 プラークコントロール, 食生活指導 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗
第13回 7/5 (水)	齲蝕予防2 III フッ化物の応用 IV 小窩裂溝填塞法 V 定期検診	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、齲蝕予防および定期検診について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フッ化物の応用を説明できる。 2. 小窩裂溝填塞法を説明できる。 3. 定期検診について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 フッ化物の応用, 小窩裂溝填塞法, 定期検診 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗
第14回 7/12 (水)	咬合誘導	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における衛生士業務を行うために、咬合誘導について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保隙について説明できる。 2. 能動的咬合誘導を説明できる。 3. 保隙装置の定期診査を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 咬合誘導 (30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗
第15回 7/19 (水)	まとめ	<p>【授業の一般目標】 小児歯科学の全体像を把握し、小児歯科診療における歯科衛生士の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児歯科における歯科衛生士の役割について概説できる。 <p>【準備学習項目・時間】 第1～14回の講義内容 (60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 龍朗

科目名 「 歯科矯正学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	葛西 一貴

学習目標 (GIO)	歯科衛生士に必要な歯科矯正学の基礎的および臨床的内容を理解する。
担当教員	葛西一貴, 榎本 豊, 五関たけみ, 小野修一, 高橋 治
教科書	新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科矯正学 (クインテッセンス出版株式会社)
参考図書	・歯科矯正学 (医歯薬出版) ・したのくせ (クインテッセンス出版) ・口腔筋機能療法 (MFT) の臨床 (わかば出版) ・オーラルマイオファンクショナルセラピー (わかば出版)
評価方法 (EV)	平常試験ならびに定期試験で評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	2年後に歯科衛生士として歯科医療に従事することを自覚して勉強してほしい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	歯科矯正学概論	<p>【授業の一般目標】 歯科矯正学の概略を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯科矯正学がどのような分野かを説明できる。 矯正歯科治療がどのような治療かを説明できる。 矯正歯科治療の目的を説明できる。 歯科矯正治療での歯科衛生士の役割を説明できる。 健康保険が適用可能な矯正歯科治療を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書P13～P24熟読。1時間</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	葛西一貴
第2回 4/13	成長・発育	<p>【授業の一般目標】 成長・発育について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 Scammonの成長発育に関する4種類のパターンを説明できる。 鼻上顎複合体と下顎の成長の特徴を説明できる。 歯列と咬合の発育に関して説明できる。 吸啜に関する反射を説明できる。 乳児型嚥下と成人型嚥下を説明できる。 嚥下機能と咀嚼機能の発達を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書P25～P35熟読。1時間</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	葛西一貴

<p>第3回 4/20</p>	<p>咬合</p>	<p>【授業の一般目標】 正常咬合・不正咬合および不正咬合による障害を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 下顎位と咬合位について説明できる。 正常咬合が成立し保持される条件を列挙できる。 不正咬合の表現法と分類を説明できる。 不正咬合の原因を列挙できる。 不正咬合の予防を説明できる。 不正咬合による障害を説明できる。 【準備学習項目】 教科書P36～P53熟読。1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>榎本 豊</p>
<p>第4回 4/27</p>	<p>矯正診断</p>	<p>【授業の一般目標】 矯正診断に必要な検査、分析を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 矯正歯科治療の流れを説明できる。 矯正歯科に必要な検査を説明できる。 形態検査、機能検査について説明できる。 模型分析の意義と目的を説明できる。 頭部エックス線規格写真分析の意義と目的を説明できる。 インフォームドコンセントの意義と目的を説明できる。 【準備学習項目】 教科書P54～P64熟読。1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>榎本 豊</p>
<p>第5回 5/11</p>	<p>平常試験および解説講義1 第1回から第4回までの範囲から出題</p>	<p>【授業の一般目標】 第1回から第4回までの講義内容理解度の確認 【行動目標 (SB0s)】 【準備学習項目】 第1回から第4回までの範囲の復習。 【学習方略 (LS)】 筆記試験</p>	<p>榎本 豊</p>
<p>第6回 5/18</p>	<p>矯正力と顎整形力</p>	<p>【授業の一般目標】 矯正力と顎整形力について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 器械的矯正力と機能的矯正力について説明できる。 顎整形力について説明できる。 さまざまな歯に移動様式を説明できる。 歯の移動に伴う圧迫側と牽引側の組織変化を説明できる。 固定の程度とその種類を説明できる。 【準備学習項目】 教科書P65～P71熟読。1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>五関たけみ</p>
<p>第7回 5/25</p>	<p>矯正歯科用の材料・器具1</p>	<p>【授業の一般目標】 矯正歯科用の材料・器具について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 矯正歯科治療に用いる材料・器具を列挙できる。 矯正歯科治療に用いる材料・器具の構造と用途を説明できる。 【準備学習項目】 教科書P72～P93熟読。1時間 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小野修一</p>

第8回 6/1	矯正歯科用の材料・器具2	<p>【授業の一般目標】 矯正歯科用の材料・器具について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 矯正歯科治療に用いる材料・器具を列挙できる。 矯正歯科治療に用いる材料・器具の構造と用途を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書P72～P93熟読。1時間</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	榎本 豊
第9回 6/8	矯正装置と矯正歯科治療1	<p>【授業の一般目標】 矯正装置と矯正歯科治療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 矯正装置の種類を列挙できる。 矯正装置の構造と使用目的と適用時期を説明できる。 可徹式矯正装置の装着方法を指導できる。固定式矯正装置の装着方法を説明できる。矯正装置の注意事項を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書P94～P107熟読。1時間</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	小野修一
第10回 6/15	矯正装置と矯正歯科治療2	<p>【授業の一般目標】 保定と偶発症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 保定について説明できる。 偶発症について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書P94～P107熟読。1時間</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	榎本 豊
第11回 6/22	平常試験および解説講義2 第6回から第10回までの範囲から出題	<p>【授業の一般目標】 第6回から第10回までの講義内容理解度の確認</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>【準備学習項目】 第6回から第10回までの範囲の復習。</p> <p>【学習方略 (LS)】 筆記試験</p>	榎本 豊
第12回 6/29	矯正歯科における口腔衛生管理	<p>【授業の一般目標】 矯正歯科における口腔衛生管理について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 矯正歯科治療における歯科衛生アセスメントについて説明できる。 矯正治療中のプラークコントロールについて説明できる。 セルフケアについて説明できる。 プロフェッショナルケアについて説明できる。 矯正装置の目的と注意点を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書P133～P156熟読。1時間</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	五関たけみ
第13回 7/6	口腔筋機能療法	<p>【授業の一般目標】 口腔筋機能療法の意義と内容を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 口腔習癖が咬合・発音に与える影響を理解し、口腔習癖を除去する方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書P157～P166熟読。1時間</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	高橋 治

<p>第14回 7/13</p>	<p>矯正歯科治療の実 際1</p>	<p>【授業の一般目標】 矯正歯科治療の実際を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 不正咬合の種類を列挙できる。 不正咬合の特徴を説明できる。 矯正歯科治療の目的と流れを説明できる。 矯正歯科治療での歯科衛生士の役割を説明できる。 【準備学習項目】 教科書P108～P132熟読。 1時間 【学習方略 (LS)】 講 義</p>	<p>小野修一</p>
<p>第15回 7/20</p>	<p>矯正歯科治療の実 際2</p>	<p>【授業の一般目標】 矯正歯科治療の実際を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 不正咬合の種類を列挙できる。 不正咬合の特徴を説明できる。 矯正歯科治療の目的と流れを説明できる。 矯正歯科治療での歯科衛生士の役割を説明できる。 【準備学習項目】 教科書P108～P132熟読。 1時間 【学習方略 (LS)】 講 義</p>	<p>榎本 豊</p>

科目名 「 歯科放射線学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	金田 隆

学習目標 (GIO)	放射線は歯科臨床において欠かすことのできない一分野であり画像機器の進歩に伴い診断における画像検査の占める割合が増えつつある。しかしながら放射線は放射線障害という問題をかかえているために放射線の利益および害を理解し、人体における放射線の生物学的影響や防護が重要となっている。これをふまえて将来歯科衛生士になるにあたり、自身の役割を認識し、放射線を安全かつ有効に扱えるようになるために必要な基礎知識を習得することを目的とする。
担当教員	金田 隆、川島 雄介
教科書	最新歯科衛生士教本／歯科放射線 医歯薬出版
参考図書	歯科放射線診断 teaching file 編著者 金田 隆、倉林 亨 他 砂書房 「Q&A」で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義・金田 隆 ほか・学建書院
評価方法 (E V)	成績は定期試験、平常試験、出席状況および受講態度等の総合評価をもって行う。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科臨床における放射線検査は日々の診療を行う上で必要不可欠なものです。 しかしながら、被曝という問題点も抱えています。 それらの利点・欠点を十分に理解し、放射線学の意義を学んでください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/11	エックス線検査 の意義	<p>【授業の一般目標】 放射線とは何かを知り、歯科医療におけるエックス線検査の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1) 放射線とは何かを説明する。 2) 歯科医療におけるエックス線検査の役割について説明する。 3) 画像検査の目的と意義を説明する。</p> <p>【準備学習項目】 特になし</p> <p>【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	川島 雄介
第2回 4/18	エックス線と その性質	<p>【授業の一般目標】 エックス線についての物理的特性を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1) エックス線とは何か説明する。 2) エックス線の単位について列記する。 2) エックス線の性質について説明する。</p> <p>【準備学習項目】 教科書を用いて行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	川島 雄介

<p>第3回 4/25</p>	<p>放射線の 人体への影響</p>	<p>【授業の一般目標】 放射線の人体への影響を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1) エックス線の為害性について説明する。 2) 放射線の人体に与える影響について説明する。 3) 放射線防護の方法について列記する。 【準備学習項目】 教科書を用いて行う。 【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	<p>川島 雄介</p>
<p>第4回 5/2</p>	<p>放射線防護の 基本概念</p>	<p>【授業の一般目標】 放射線防護の必要性を知り、その方法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1) 放射線防護の原則を説明する。 2) 放射線防護の方法を知る。 【準備学習項目】 教科書を用いて行う。 【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	<p>川島 雄介</p>
<p>第5回 5/9</p>	<p>デジタル画像と エックス線 フィルム</p>	<p>【授業の一般目標】 デジタル画像やデジタルを用いた撮影法について知る。 フィルムの特性や現像方法について知る。 【行動目標 (SB0s)】 1) エックス線フィルム撮影とデジタル撮影について比較する。 2) エックス線フィルムの特性について説明する。 3) 現像の方法、現像の失敗について説明する。 【準備学習項目】 教科書を用いて行う。 【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	<p>川島 雄介</p>
<p>第6回 5/16</p>	<p>口内法 エックス線検査</p>	<p>【授業の一般目標】 口内法エックス線撮影の種類について知り、それぞれの撮影の意義を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1) 口内法エックス線撮影の種類について列記する。 2) 二等分法、平行法、咬翼法、咬合法それぞれの撮影方法について説明する。 【準備学習項目】 教科書を用いて行う。 【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	<p>川島 雄介</p>
<p>第7回 5/23</p>	<p>口内法エックス線 撮影の実際と 歯科衛生士の役割</p>	<p>【授業の一般目標】 口内法撮影を行う際の歯科衛生士の役割を理解し、修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1) スタンダードプレコーションについて説明する。 2) 撮影前準備について列挙する。 3) 撮影時の位置づけについて列記する。 【準備学習項目】 教科書を用いて行う。 【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	<p>川島 雄介</p>

第8回 5/30	パノラマ エックス線検査	<p>【授業の一般目標】 パノラマエックス線写真について理解し、撮影時の歯科衛生士の役割を理解し、修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1) パノラマエックス線撮影について説明する。 2) 撮影前準備について列挙する。 3) 撮影時の位置づけについて列記する。</p> <p>【準備学習項目】 教科書を用いて行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	川島 雄介
第9回 6/6	口外法 エックス線検査	<p>【授業の一般目標】 口内法エックス線撮影の種類について知り、それぞれの撮影の意義を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1) 口外法エックス線撮影の種類について列記する。 2) P-A法, Warters法, セファロ撮影のそれぞれの撮影方法について説明する。</p> <p>【準備学習項目】 教科書を用いて行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	川島 雄介
第10回 6/13	CT, CBCT	<p>【授業の一般目標】 CTの原理について知り、歯科領域での必要性について理解する。また、CBCTの歯科領域への応用について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1) CT, CBCTの原理について説明する。 2) CT, CBCTの歯科領域での利用について説明する。</p> <p>【準備学習項目】 教科書を用いて行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	川島 雄介
第11回 6/20	MRI・ 超音波検査・ 核医学検査	<p>【授業の一般目標】 MRI・超音波および核医学検査の原理について知り、歯科領域でどのように使用されているかを理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1) MRIの原理について説明する。 2) 超音波検査, 核医学検査の原理について説明する。 3) MRI, 超音波検査, 核医学検査の歯科領域での利用について説明する。</p> <p>【準備学習項目】 教科書を用いて行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	川島 雄介
第12回 6/27	歯および 歯周組織の病変 炎症性疾患の 画像診断	<p>【授業の一般目標】 主に口内法、パノラマエックス線画像を用いた歯、歯周組織の画像診断を身につける。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1) 歯槽骨吸収, 歯石の診断を行う。 2) 齶蝕, 根尖病巣の診断を行う。 3) 炎症性疾患の診断を行う。</p> <p>【準備学習項目】 教科書を用いて行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	川島 雄介

<p>第13回 7/4</p>	<p>嚢胞および 腫瘍の画像診断</p>	<p>【授業の一般目標】 パノラマおよびCT, MRI画像を用いた嚢胞、腫瘍の画像診断を知る。 【行動目標 (SB0s)】 1) 嚢胞の画像診断を説明する。 2) 腫瘍の画像診断を説明する。 【準備学習項目】 教科書を用いて行う。 【学習方略 (LS)】 教科書および参考図書、レジュメ、スライドを用いて行う。</p>	<p>川島 雄介</p>
<p>第14回 7/11</p>	<p>放射線治療 まとめ</p>	<p>【授業の一般目標】 放射線治療の概念を知り、具体的な治療法を理解する。 今まで学んだ項目について再確認する。 【行動目標 (SB0s)】 1) 放射線治療について説明する。 2) 放射線学について再確認する。 【準備学習項目】 教科書を用いて行う。 【学習方略 (LS)】 教科書およびレジュメ、スライドを用いて行う。</p>	<p>川島 雄介</p>
<p>第15回 7/18</p>	<p>平常試験および 解説講義</p>	<p>今まで学んだ内容について定期試験を行う。</p>	<p>川島 雄介</p>

科目名 「 高齢者歯科学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	野本 たかと

学習目標 (GIO)	現在の日本社会において要介護者人口の増加に伴う福祉・医療費の増大が懸念されており，国民の健康問題が大きな課題である。こうした課題は地域支援によって解決されるべきものであり，地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として健康増進の鍵となる口腔機能の維持を担う責任がある。そのため高齢者にとって適切な歯科医療にとどまらず，高齢者の取り巻く社会環境ならびに社会制度を熟知しておく必要がある。地域歯科医療や保健活動において高齢者のための包括的な歯科医療における課題を解決できる基本的能力を修得する。
担当教員	野本たかと，小見山道，梅澤幸司，田中陽子，飯田崇，遠藤眞美，伊藤梓，矢口学，井樋加奈子
教科書	歯科衛生士講座 高齢者歯科学（永末書店）
参考図書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科，歯科衛生士のための障害者歯科，スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科，障害者歯科ガイドブック，有病者・高齢者歯科治療マニュアル（以上全て医歯薬出版），歯科衛生士のための有病者歯科医療（クインテッセンス出版），
評価方法 (EV)	原則として定期試験(100%)を評価点とする。定期試験は，各講義担当教員が出題し，その総合評価とする。なお，配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。
学生への メッセージ オフィスアワー	超高齢社会である日本において要介護高齢者の増加および発達期の障害者の高齢化により福祉・医療サービスの必要な人口は増加しており，地域での支援体制が強化されている。そのため歯科衛生士として将来的に高齢者・障害児者の歯科口腔保健を担う必要があることを認識して受講して下さい。オフィスアワー：月曜日～金曜日 8：30～17：30

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	高齢者と 社会福祉	<p>【授業の一般目標】 社会における高齢者のおかれた環境について理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的視点からみた高齢者について説明できる 2. 社会における高齢化，高齢社会について説明できる 3. 高齢者の人口統計について説明できる 4. 高齢者を取り巻く社会的問題と社会保障の重要性について説明できる 5. 高齢者の基本的生活を支える社会福祉政策について説明できる <p>【準備学習項目・時間】 日本の年代別人口比率について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢社会における問題点と社会保障制度に基づいた社会福祉について学ぶ</p>	田中

<p>第2回 4/12</p>	<p>加齢と老化</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者に対して適切な歯科医療の提供を行うために、高齢者の身体的・精神的特徴および社会的機能の変化について理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 加齢と老化の違いについて説明できる 2. 加齢に伴う生理的变化と病的変化について説明できる 3. 老年期の社会生活機能の変化について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 社会的視点からみた高齢者の生活環境・社会環境について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して加齢に伴う全身の変化を理解し、歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	<p>田中</p>
<p>第3回 4/19</p>	<p>高齢者と全身疾患</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者の歯科診療上必要な配慮とは何かを知るために、加齢に伴う病的変化による疾患について原因および病態を理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者に見られる疾患の特性について説明できる －若年者との病態の現れ方の違い(不顕性など)－ 2. 高齢者に見られる疾患の定義・原因・病態について説明できる －高血圧症・心疾患・脳血管障害・糖尿病・その他の慢性疾患など－</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢者の身体的・精神的特徴および社会的機能の変化について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して、高齢者の多くが肉眼的変化のみならず内科的疾患を多く抱えており、歯科診療上配慮が必要なことを学ぶ</p>	<p>矢口 (野本)</p>
<p>第4回 4/26</p>	<p>高齢者のための歯科診療と全身管理</p>	<p>【授業の一般目標】 多岐にわたる内科的疾患をもつ高齢者の歯科診療における全身管理の重要性を理解し実施方法を修得する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者に多く認められる基礎疾患の病態評価について説明できる 2. 全身管理の方法について説明できる 3. 高齢者に多く認められる基礎疾患と全身管理方法の関係性について説明できる 4. 基礎疾患に起因する歯科診療場面での緊急時の対応方法について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢者に多く認められる全身疾患について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して基礎疾患のある高齢者の歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	<p>矢口 (野本)</p>
<p>第5回 5/10</p>	<p>高齢者と薬剤</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者の歯科診療場面での薬剤使用・投与における配慮を知るために、生理的機能の低下による薬物代謝の変化ならびに多剤服用の現状を認識する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の薬物動態について説明できる 2. 歯科診療上使用する薬剤ならびに処方する薬剤と日常服用している薬剤との相互作用について説明できる 3. 日常服用している薬剤により口腔に現れる症状について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢者の生理的機能について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して、高齢者の歯科診療においては使用もしくは処方する薬剤が医療事故につながるリスクがあることを学ぶ</p>	<p>伊藤梓</p>

<p>第6回 5/17</p>	<p>高齢者のための 感染予防対策管理</p>	<p>【授業の一般目標】 生理的機能の低下ならびに病的変化の認められる高齢者のための感染予防対策管理の重要性を理解し、その実施方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者における感染症の特徴について説明できる 2. 感染症の発生要因について説明できる 3. 感染予防対策の方法について説明できる 4. ユニバーサル・プリコーション, スタンダード・プリコーションについて説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢者の生理的機能ならびに生活環境を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して生理機能の低下ならびに生活環境の違いなどにより重篤な感染症が誘発されやすいことを知り、感染予防対策の方法を学ぶ</p>	<p>伊藤梓</p>
<p>第7回 5/24</p>	<p>高齢者の歯科診療 への導入</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯科医療の提供をするために高齢者の生理的機能(身体的機能・精神的機能)とそれに起因する行動特性の評価の重要性を理解し、歯科診療時に必要な配慮についての知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者に認められる行動特性についてその原因と状態を説明できる 2. 問診を通じた高齢者の生理的機能ならびに行動の評価方法を説明できる 3. 高齢者ならびに介護者とのコミュニケーションの重要性を説明できる 【準備学習項目・時間】 華麗による身体的・精神的機能の特徴について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢者の歯科診療に必要な配慮に関して接し方も含めた診療計画の立案方法を学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第8回 5/31</p>	<p>高齢者にみられる 口腔内の変化と疾患への対応 1</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者に適切な歯科医療を提供するために、加齢に伴う口腔機能の低下と口腔内環境との関係性を理解し高齢者に多く認められる口腔疾患の原因および病態についての知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 加齢による生理的機能低下に伴う口腔機能の変化について説明できる 2. 高齢者の口腔内環境の特徴を説明できる 3. 高齢者に多く認められる口腔疾患について説明できる 【準備学習項目・時間】 加齢に伴う全身の生理的機能の変化について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して高齢者の口腔保健に携わる歯科衛生士として高齢者の口腔内の状態や口腔疾患について学ぶ</p>	<p>飯田 小見山</p>
<p>第9回 6/7</p>	<p>高齢者にみられる 口腔内の変化と疾患への対応 2</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯科医療を提供するために、高齢者の歯科治療計画を立案することが出来る 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の歯科保存治療(歯周処置含む)について説明できる 2. 高齢者の欠損補綴治療について説明できる 3. 高齢者の言語障害とその対応について説明できる 4. 高齢者の歯科治療計画立案の仕方について説明できる 【準備学習項目・時間】 加齢に伴う口腔の変化について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介し高齢者の口腔内の状態や口腔疾患について知り、実際の歯科治療の診療補助と口腔保健を担う衛生士としての役割を学ぶ</p>	<p>飯田 小見山</p>

<p>第10回 6/14</p>	<p>高齢者の 摂食嚥下リハビリ テーション</p>	<p>【授業の一般目標】 加齢による生理的機能の低下と摂食嚥下機能の関連性について理解し、高齢者に対する摂食嚥下リハビリテーションの重要性を認識するとともにその実施方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 加齢に伴う摂食嚥下機能を主とした口腔機能の低下について説明できる 2. 高齢者にみられる摂食機能障害の特徴について説明できる 3. 高齢者における摂食嚥下機能の評価について説明できる 4. 高齢者のための摂食嚥下リハビリテーションの方法について説明できる 【準備学習項目・時間】 加齢による口腔機能の低下とそれに起因する口腔内環境を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して、高齢者に対して適正で包括的な口腔管理を行うために口腔衛生管理だけでなく摂食嚥下リハビリテーションの重要性とその実施方法を学ぶ</p>	<p>野本</p>
<p>第11回 6/21</p>	<p>高齢者における 口腔機能管理 その1 基本的事項</p>	<p>【授業の一般目標】 要介護高齢者の口腔内の状態および多く認められる疾患について知り、口腔管理の重要性を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者における口腔機能と全身疾患の関係性について説明できる 2. 高齢者における口腔機能管理における注意事項について説明できる 3. 介護者および関係者への指導の重要性について説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢者の状態と取り巻く環境について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して将来接するであろう高齢者への口腔管理の重要性とその対応について学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第12回 6/28</p>	<p>高齢者に対する 口腔機能管理 その2 実践</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者の健康維持増進の支援をする歯科衛生士として適正な口腔管理を担う重要性を理解し、高齢者のための歯科衛生課程の実施方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔管理の具体的な方法について説明できる 2. 高齢への口腔機能管理のための歯科衛生課程について説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢者の身体的・精神的特徴・口腔の特徴ならびに行動特性を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して将来携わるであろう高齢者のための歯科衛生課程を実施できるように基礎知識と実施方法について学ぶ</p>	<p>井樋 (野本)</p>
<p>第13回 7/5</p>	<p>要介護高齢者の 現状と 医療実態</p>	<p>【授業の一般目標】 地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として要介護高齢者の生活・社会環境を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 要介護人口動態について説明できる 2. 要介護の原因と病態について説明できる 3. 要介護高齢者のおかれた環境について説明できる 4. 要介護高齢者と福祉医療費の関係性について説明できる 【準備学習項目・時間】 高齢社会における問題点と社会保障制度を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して将来地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として社会における要介護高齢者の現状を理解する</p>	<p>梅澤</p>

<p>第14回 7/12</p>	<p>要介護高齢者と 介護保険</p>	<p>【授業の一般目標】 地域口腔保健活動に携わるために必要となる要介護高齢者に対する歯科医療サービスと介護保険サービスの関係性について理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険についての概要を説明できる 2. 要介護認定とその利用方法について説明できる 3. 要介護保険によるサービスについて説明できる 4. 介護予防について説明できる 5. 歯科医療と介護保険・介護予防の関係性について説明できる <p>【準備学習項目・時間】 要介護高齢者の現状と取り巻く環境について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して将来地域口腔保健活動に携わる歯科衛生士として社会福祉サービスと歯科医療サービスの関係性について学ぶ</p>	<p>梅澤</p>
<p>第15回 7/19</p>	<p>訪問診療 医療連携</p>	<p>【授業の一般目標】 在宅もしくは施設にて生活している要介護高齢者への歯科医療の提供において訪問診療の必要性があることを認識し、その際に携わる歯科衛生士として必要な知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問診療についての概要を説明できる 2. 訪問診療における歯科口腔保健指導について説明できる 3. 訪問診療における感染予防対策について説明できる 4. 訪問診療を行う上での医療連携について説明できる <p>【準備学習項目・時間】 要介護についてその状態および社会福祉サービスを説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して将来接する機会が多いであろう要介護高齢者に必要性が高まっている訪問診療について社会福祉サービスにおける歯科の役割と連携を念頭に置いた口腔保健指導について学ぶ</p>	<p>梅澤</p>

科目名 「 障害者歯科学Ⅰ」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	野本 たかと

学習目標 (GIO)	障害者歯科学は、障害児者に対する歯科医療および地域歯科保健によって体型づけられている。障害者の地域生活支援体制が強化されている現在、地域歯科保健活動に携わる歯科衛生士として、障害児者の歯科医療に関わっていく必要がある。そのために障害者歯科の基本理念、障害に関する十分な医学的基礎知識と歯科診療上における何らかの配慮に必要な社会歯科学的背景の知識を身に付け、障害者地域歯科保健に関与した際の課題を解決してゆくための基本的な能力を修得する。
担当教員	野本たかと、伊藤政之、三田村佐智代、田中陽子、伊藤梓、猪俣英理、矢口学
教科書	最新歯科衛生士教本 障害者歯科 (医歯薬出版)
参考図書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科, 歯科衛生士のための障害者歯科, 新歯科衛生士教本 小児歯科, スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科, 障害者歯科ガイドブック, 有病者・高齢者歯科治療マニュアル (以上全て医歯薬出版), 歯科衛生士のための有病者歯科医療(クインテッセンス出版), 歯科衛生士講座 障害者歯科学 (永末書店)
評価方法 (EV)	原則として定期試験(100%)を評価点とする。定期試験は、各講義担当教員が出題し、その総合評価とする。なお、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。
学生への メッセージ オフィスアワー	何らかの配慮が必要な人々はこの歯科医療機関でも治療を受ける権利があります。全ての人々が末永く住み慣れた地域でのQOLが保たれた地域での生活を営むことを推奨している現在、すべての歯科衛生士が障害児者の口腔の健康増進を支援する義務があります。講義を介して地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識することを念頭に受講してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日 8：30～17：30 質問があれば研究室に来てください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	障害の概念と理解 法律・社会保障	<p>【授業の一般目標】 障害の概念を理解し、基本的人権の意義およびその重要性について認識する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の概念：ICFとICDについて説明できる 2. 障害者に関与する基本的な法律について説明できる 3. 基本的人権と社会保障に基づいた福祉とその重要性について説明できる <p>【準備学習項目・時間】 障害の意味を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して障害者と障害者に関与する社会学的基礎知識を学ぶ</p>	伊藤政

<p>第2回 4/12</p>	<p>障害者の現状 実態と尊厳</p>	<p>【授業の一般目標】 社会的視点から障害者の現状について理解し，人間の尊厳及び価値を認識する 【行動目標（SB0s）】 1．障害者基本法に定められている障害者の人口動態について説明できる 2．ノーマライゼーションとバリアフリーについて説明できる 3．スペシャルニーズおよび障害者のQOLについて説明できる 【準備学習項目・時間】 障害の概念と障害者の基本的人権についてを説明できる・60分 【学習方略（LS）】 講義を介して社会は多種多様な人々で構成されており，共生の重要性とそのためになにが必要かを学ぶ</p>	<p>伊藤梓</p>
<p>第3回 4/19</p>	<p>障害の発生・原因 と受容</p>	<p>【授業の一般目標】 能力障害・機能障害を引き起こす原因となる疾患と障害との関連性を理解する 【行動目標（SB0s）】 1．ライフサイクルと障害の発生および状態について説明できる 2．身体障害を引き起こす疾患の原因と，能力・機能障害を説明できる(分類を含む) 3．知的障害を引き起こす疾患の原因と，能力・機能障害を説明できる(分類を含む) 4．精神障害(発達障害を含む)を引き起こす疾患の原因と，能力・機能障害を説明できる(分類を含む) 4．障害の受容について説明できる 【準備学習項目・時間】 障害および障害者を社会的視点から説明できる・60分 【学習方略（LS）】 講義を介して，障害者の持つ多種多様な疾患の多くは障害に起因し，結果的に能力障害・機能障害を引き起こしそれらは本人家族の障害の受容過程に影響があることを学ぶ</p>	<p>伊藤梓</p>
<p>第4回 4/26</p>	<p>外表奇形と 能力・機能障害</p>	<p>【授業の一般目標】 能力障害・機能障害の多くは形態異常に起因し外表奇形として表現されることを知り，先天異常・奇形と障害の関係性について理解する 【行動目標（SB0s）】 1．形態異常と機能異常の関係性を説明できる 2．先天異常・奇形について説明できる 3．外表奇形について説明できる 4．口腔・顎顔面・頭蓋に現れる奇形・異常と疾患および症候群の関係を説明できる 【準備学習項目・時間】 奇形・異常と能力・機能障害の関係性について説明できる・60分 【学習方略（LS）】 講義を介して，機能異常が組織・器官における奇形・異常に起因していることを学ぶ</p>	<p>野本</p>
<p>第5回 5/10</p>	<p>障害者歯科の 基本理念</p>	<p>【授業の一般目標】 障害者歯科の基本的理念の習得のために，障害者に対する歯科医療の特質と役割を知る 【行動目標（SB0s）】 1．障害者に対する歯科医療の成り立ちと歴史を説明できる 2．障害者に対する歯科医療に必要な特別な配慮とは何かを説明できる 3．障害者歯科医療体制について説明できる 【準備学習項目・時間】 障害とそれに起因する疾患と能力・機能障害との関係性を説明できる・60分 【学習方略（LS）】 講義を介して身体的・心理的・社会的背景が障害者に対する歯科医療における特別な配慮に深く関与することを学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>

<p>第6回 5/17</p>	<p>歯科治療時に 配慮すべき疾患と 歯科医療 その1 脳疾患・てんかん</p>	<p>【授業の一般目標】 脳・神経疾患を合併する障害児者への適切な歯科医療の提供のために、合併率が高い疾患について必要な基礎的知識と歯科治療上の注意事項を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 先天奇形による脳疾患について説明できる 2. てんかんについて定義およびそれに伴う全身的な諸症状について説明できる 3. てんかん発作の治療と口腔内の特徴と歯科治療における注意事項について説明できる 【準備学習項目・時間】 先天奇形と機能障害とは何かを説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して、多くの障害児者が多様な疾患を併発するが、障害を受けた部位によっては共通した疾患を有することを学ぶ</p>	<p>田中</p>
<p>第7回 5/24</p>	<p>歯科治療時に 配慮すべき疾患と 歯科医療 その2 内科的疾患</p>	<p>【授業の一般目標】 内科的疾患を合併する障害児者への適切な歯科医療提供のために、歯科診療上問題となる病態についての知識と歯科治療上の注意事項を習得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 先天性の代謝異常と歯科治療における注意事項について説明できる 2. 先天性の心疾患と歯科治療における注意事項について説明できる 3. 呼吸器、消化器疾患と歯科治療における注意事項について説明できる 【準備学習項目・時間】 先天奇形と機能障害とは何かを説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して、多くの障害児者が多様な疾患を併発するが、障害を受けた部位によっては共通した疾患を有することを学ぶ</p>	<p>田中</p>
<p>第8回 5/31</p>	<p>身体障害と 歯科医療 その1 基本的事項</p>	<p>【授業の一般目標】 身体障害児者への適切な歯科医療の提供に必要な基礎的知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 身体障害を引き起こす疾患で、臨床上接する機会の多い障害の定義を説明できる ー脳性麻痺・筋ジストロフィー・二分脊椎などの先天性の疾患について 2. 身体障害児者のおかれている生活および社会環境について説明できる 【準備学習項目・時間】 法律で定められた身体障害についてを説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して身体障害児者の原因と病態について知り、それに伴う生活および社会環境について学ぶ</p>	<p>矢口 (野本)</p>
<p>第9回 6/7</p>	<p>身体障害と 歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科 治療における注意 事項</p>	<p>【授業の一般目標】 身体障害児者への適切な歯科医療の提供に必要な口腔に関する基礎的知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 身体障害児者に認められる口腔の特徴および特有な口腔疾患・口腔機能を説明できる 2. 身体障害児者に対する歯科診療上必要な特別な配慮について説明できる 【準備学習項目・時間】 身体障害を引き起こす疾患の原因と、能力・機能障害を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して身体障害児者の口腔の特徴を知り歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	<p>矢口 (野本)</p>

<p>第10回 6/14</p>	<p>感覚器障害 と歯科医療 基本的事項ならび に口腔の特徴と歯 科治療における注 意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 感覚器障害について知り，歯科治療の重要性と注意事項を理解する 【行動目標（SB0s）】 1. 視覚障害の原因とその病態について説明できる 2. 視覚障害の口腔の特徴と歯科治療における対応について説明できる 3. 聴覚障害・平衡器の原因とその病態について説明できる 4. 聴覚障害の口腔の特徴と歯科治療における対応について説明できる 5. そのほかの感覚障害についてその原因と病態および歯科医療における対応について説明できる－先天性無痛無汗症・味覚障害など－ 【準備学習項目・時間】 法律に記載されている身体障害の種類について説明できる・60分 【学習方略（LS）】 講義を介して感覚器および感覚障害についての病態とその環境を知り，歯科衛生士としての配慮について学ぶ</p>	<p>猪俣 (野本)</p>
<p>第11回 6/21</p>	<p>音声言語障害 と歯科医療 基本的事項ならび に口腔の特徴と歯 科地用における注 意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者の音声言語障害について知り，歯科治療の重要性と注意事項を理解する 【行動目標（SB0s）】 1. 言語機能の基本的メカニズムを説明できる －発音・構音のメカニズム－ 2. 音声言語障害の原因と病態について説明できる 3. 音声言語障害におけるリハビリテーション方法について説明できる 4. 歯科医療における対応と他業種との連携について説明できる 【準備学習項目・時間】 法律に定められている音声言語障害の定義について説明できる・60分 【学習方略（LS）】 講義を介して歯科衛生士としての包括的な口腔機能管理を担うために音声言語障害について理解し，その対応やリハビリテーション法について学ぶ</p>	<p>三田村</p>
<p>第12回 6/28</p>	<p>知的障害と歯科医 療 基本的事項ならび に口腔の特徴と歯 科治療における注 意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 障害者基本法に定められている知的障害への適切な歯科医療提供に必要な基礎的知識を修得する 【行動目標（SB0s）】 1. 知的障害を引き起こす疾患で，臨床上接する機会の多い障害の定義を説明できる －知的障害，Down症などの染色体異常－ 2. 知的障害児者の全身の機能について説明できる 3. 知的障害の口腔の特徴と歯科治療上における注意事項について説明できる 【準備学習項目・時間】 法律で定められたできる・60分 【学習方略（LS）】 講義を介して知的障害児者の原因および全身の病態を知り，それに伴う口腔の特徴と歯科治療上の注意事項について学ぶ</p>	<p>猪俣 (野本)</p>

<p>第13回 7/5</p>	<p>発達障害と歯科医療 その1 基本的事項</p>	<p>【授業の一般目標】 障害者基本法に定められている発達障害者への適切な歯科医療提供のために必要な基礎的知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 法律で定められている発達障害と発達期の障害との関連性について説明できる 2. 発達障害の法的枠組みの成り立ちと定義の変遷を説明できる 3. 発達障害者の全身的機能の特徴と置かれた生活・社会環境について説明できる 【準備学習項目・時間】 法律に定められている発達障害の定義を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して発達障害児者の全身機能の特徴と置かれた環境について学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>
<p>第14回 7/12</p>	<p>発達障害と歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 発達障害者への適切な歯科医療提供のために必要な口腔の基礎的知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 発達障害児者に認められる口腔の特徴および特有な口腔疾患・口腔機能を説明できる 2. 発達障害児者に対する歯科診療上必要な特別な配慮について説明できる 【準備学習項目・時間】 発達障害の特徴について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して発達障害児者の全身の特徴を歯科治療の重要性と注意事項について学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>
<p>第15回 7/19</p>	<p>重症心身障害児者と歯科医療 基本的事項ならびに口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 重症心身障害児者への適切な歯科医療提供のために必要な基礎的知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 重症心身障害児者とは何かについて説明できる 2. 重症心身障害児者の全身および口腔の特徴について説明できる 3. 精神障害者に対する歯科診療の重要性と必要な特別な配慮について説明できる 【準備学習項目・時間】 知的障害と身体障害について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して重症心身障害児者の全身状態と口腔環境との関係性を知り、歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	<p>田中</p>

科目名 「 歯科予防処置論Ⅲ 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	移川 明美

学習目標 (GIO)	予防的歯石除去法、齲蝕予防処置法において、歯科衛生士業務の予防処置を行うための知識、技能、態度を修得する。
担当教員	移川 明美, 和田由紀子, 岡元明菜, 中澤広美, 小櫃綾乃, 小方頼昌
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) 歯科衛生士教本「歯科衛生士のためのう蝕予防処置法」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株)
参考図書	新歯科衛生士教本「歯科予防処置」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株)
評価方法 (EV)	定期試験・提出物・学習態度など総合的に評価する
学生へのメッセージ オフィスアワー	後期から臨床実習で患者診療を控えた時期である。各自日々の手技の訓練と毎回の実習の振り返りを行い次の実習へと臨み、実際の患者診療の総仕上げに向けての技術を修得してほしい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	小窩裂溝填塞法 フッ化ジアンミン銀 取り扱い	<p>【授業の一般目標】 小窩裂溝填塞ができるようになるために知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小窩裂溝填塞材の種類と特徴, 有効性を説明できる。 2. 小窩裂溝填塞法を実施できる。 3. フッ化ジアンミン銀の取り扱いを理解する。 4. フッ化ジアンミン銀の取り扱いを習得する。 <p>【準備学習項目・時間】 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」V編1章③、「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」II、5章、6章を読み、術式を確認しておくこと。・30分</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	移川
第2回 4/12	相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 上下顎前歯部	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により、生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者、補助者の経験を通じ、それぞれの立場での技術、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>術者：患者に配慮し適確なキュレット操作、ポケット測定を行うことができる。</p> <p>患者：患者の立場を理解し、術者、補助者時に役立てる。</p> <p>補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを行う。</p> <p>【準備学習項目】 キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	移川 和田 中澤 小櫃

<p>第3回 4/19</p>	<p>相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 下顎臼歯部</p>	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により、生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者、補助者の経験を通じ、それぞれの立場での技術、知識、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 術者：患者に配慮し適確なキュレット操作、ポケット測定を行うことができる。 患者：患者の立場を理解し、術者、補助者時に役立てる。 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを行う。 【準備学習項目】 キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>和田 中澤 小櫃</p>
<p>第4回 4/26</p>	<p>相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 上顎臼歯部</p>	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により、生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者、補助者の経験を通じ、それぞれの立場での技術、知識、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 術者：患者に配慮し適確なキュレット操作、ポケット測定を行うことができる。 患者：患者の立場を理解し、術者、補助者時に役立てる。 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを行う。 【準備学習項目】 キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 中澤 小櫃</p>
<p>第5回 5/10</p>	<p>超音波スケーラー エアスケーラー 歯面清掃器</p>	<p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー、エアスケーラー、歯面清掃器の操作ができるようになるために、知識、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波スケーラーの種類と特徴を説明できる。 2. 超音波スケーラーの使用方法を説明できる。 3. エアスケーラーの種類と特徴を説明できる。 4. 歯面清掃器の目的、特徴を説明できる。 5. 歯面清掃器の使用方法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章①、②を読む しておくこと。・60分 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>移川</p>

<p>第6回 5/17</p>	<p>超音波 スケーラー エアスケーラー</p>	<p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー、エアスケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 超音波スケーラーの使用方が説明できる。 2. エアスケーラーの使用方法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 第5回講義時の配布プリント、超音波スケーラー、エアスケーラー使用方法を確認しておくこと。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 中澤 小櫃</p>
<p>第7回 5/24</p>	<p>相互実習 超音波スケーラー エアスケーラー</p>	<p>【授業の一般目標】 生体での超音波スケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 術者：患者に配慮し超音波スケーラー操作を適確に行うことができる。 患者：患者の立場を理解し術者、補助者時に役立てる。 補助者：術者、患者に配慮しアシスタントワークを行う。 【準備学習項目・時間】 第5、6回の講義、実習内容を復習しておくこと。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 中澤 小櫃</p>
<p>第8回 5/30</p>	<p>相互実習 超音波スケーラー エアスケーラー</p>	<p>【授業の一般目標】 生体での超音波スケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 術者：患者に配慮し超音波スケーラー操作を適確に行うことができる。 患者：患者の立場を理解し術者、補助者時に役立てる。 補助者：術者、患者に配慮しアシスタントワークを行う。 【準備学習項目・時間】 第5、6回の講義、実習内容を復習しておくこと。・60分 【学習方略 (LS)】 実習 ※歯科保健指導論 (5月30日) と交換, 15時10分開始</p>	<p>移川 和田 中澤 小櫃</p>

<p>第9回 6/7 第10回 6/14 第11回 6/21</p>	<p>患者予備実習</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床でスクレーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 術者：患者に配慮した操作を行うことができる。口腔内診査を実施することができる。患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。 患者：術者を評価するとともに、患者体験を通じて術者として活かすことができる。 【準備学習項目・時間】 スクレーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 中澤 小櫃 岡元</p>
<p>第12回 6/28 第13回 7/5 第14回 7/12</p>	<p>父兄参加型実習</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床でスクレーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 術者：患者に配慮した操作を行うことができる。口腔内診査を実施することができる。患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。 患者：術者を評価するとともに、患者体験を通じて術者として活かすことができる。 【準備学習項目・時間】 スクレーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>小方 移川 和田 中澤 小櫃 岡元</p>
<p>第15回 7/19</p>	<p>スクレーリング 実技試験</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習でスクレーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 術者：患者に配慮し安全な操作を行うことができる。患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。 【準備学習項目・時間】 スクレーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 中澤 小櫃</p>

科目名 「 歯科保健指導論Ⅲ 」

学年	学期	科目責任者
2学年	前学期	岡元

学習目標 (GIO)	実際の患者診療に向け医療面接の技術を修得し、エビデンスに基づいた歯科保健指導を実施する。
担当教員	移川、和田、中澤、岡元、学事委員
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 医歯薬出版 (株) 『改訂歯ブラシ辞典』 学健書院 『歯肉を読む』 クインテッセンス (株) 新歯科衛生士教本 『歯科診療補助』
参考図書	『よくわかる歯科衛生過程』 医歯薬出版 (株) 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』 医歯薬出版 (株)
評価方法 (E V)	授業態度、提出物、客観的技術試験、定期試験を評価する。 必要に応じて小テストを行う場合もある。
学生へのメッセージ オフィスアワー	1学年で学んだ基礎知識を活かして相手に必要な指導は何か、優先順位を決めるようにしてください。また、相手にわかりやすい言葉や伝え方を日常生活でも意識してください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/11	歯科衛生調査法Ⅱ	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生調査の目的・方法を理解し、グループごとにテーマを決定し作業を行う。 ＊将来的に勉学向上の精神を持ち、学会発表に至る経過を修得すること。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 テーマを決定する。 調査計画を作成する。 担当の先生とコンタクトを取る。 仮説を立て、予備調査を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (歯科衛生士教本『歯科保健指導総論』4章) (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 グループワーク</p>	石橋 岡元 学事委員

<p>第2回 4/18</p>	<p>患者対応法</p>	<p>【授業の一般目標】 患者対応で必要となるコミュニケーション能力を養い、相手に好印象を持たれる要素を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 言葉遣い、態度、表情など好感をもたれるポイントを理解する。 患者さんへの適切な対応方法を理解する。 信頼関係を気づくための態度を修得する。 行動変容の過程について述べるができる。 【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編1章) (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第3回 5/2 4/25 口腔外科と交換</p>	<p>医療面接の とらえ方</p>	<p>【授業の一般目標】 医療面接の目的や必要性を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 医療面接と問診の違いを説明することができる。 情報収集の方法を説明することができる。 信頼関係を確立するためのコミュニケーションについて理解する。 【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編1章) (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第5回 5/2</p>	<p>情報収集の方法</p>	<p>【授業の一般目標】 相互実習で患者さん役から得た情報を業務記録に記載する。 【行動目標 (SBOs)】 情報収集の目的や得られる情報を説明できる。 患者さんから得られる情報の種類を推論することができる。 患者さんから得られた情報を業務記録に記載することができる。 【準備学習項目・時間】 (新歯科衛生士教本歯科診療補助) (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第4回 5/9</p>	<p>業務記録について I</p>	<p>【授業の一般目標】 業務記録の目的・必要性を理解し、法的位置づけについて学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 業務記録を作成する目的を理解する。 業務記録の必要性を理解する。 SOAPIEについて理解する。 業務記録の保管について理解する。 【準備学習項目・時間】 (新歯科衛生士教本歯科診療補助) (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>

<p>第6回 5/16</p> <p>第7回 5/23</p>	<p>歯科保健指導の 実際</p>	<p>【授業の一般目標】 症例患者の情報を基に、歯科保健指導を行う。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 問題点を列挙することができる。 問題に対する改善策を述べることができる。 適切な口腔清掃用具を選択することができる。 患者さんの生活背景を分析することができる。 適切な保健指導を行うことができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 事前に症例を提示しますので、症例患者の情報を把握してください。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>岡元</p>
<p>第8回 5/31</p> <p>5/30 歯科予防処置と 交換</p>	<p>客観的スキル試験</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習における患者指導に必要な知識・技能を評価する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 問題点を述べるができる。 問題に対する改善策を述べるができる。 口腔内に適したブラッシング方法、清掃用具を選択することができる。 適切なブラッシング方法を提案することができる。 適切な保健指導を提案することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 試験用症例患者の問診票等を事前に配布します。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実技試験</p>	<p>移川 和田 中澤 岡元</p>
<p>第9回 6/6</p> <p>第10回 6/13</p>	<p>客観的スキル試験 フィードバック I・II</p>	<p>【授業の一般目標】 客観的スキル試験のビデオ鑑賞を行い、今後の自己課題を見出す。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ビデオ鑑賞において、自身を客観的に評価する。 ビデオ鑑賞において、他者の指導内容を考察する。 模擬患者と担当教員からのフィードバックを基に今後の自己課題を示す。</p> <p>【準備学習項目・時間】 客観的スキル試験の自己振り返りをしておくこと。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 フィードバック</p>	<p>移川 和田 中澤 岡元</p>
<p>第11回 6/20</p> <p>第12回 6/27</p>	<p>歯科衛生調査法 III・IV</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生調査の目的・方法を理解し、グループごとにテーマを決定し作業を行う。 *将来的に勉学向上の精神を持ち、学会発表に至る経過を修得すること。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 調査計画の再検討を行う。 調査結果から今後の展開を考察する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (歯科衛生士教本『歯科保健指導総論』4章) (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 グループワーク</p>	<p>岡元 学事委員</p>

<p>第13回 7/4</p> <p>第14回 7/11</p> <p>第15回 7/18</p>	<p>歯科衛生過程 I・II・III</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生過程の必要性を理解するために、事例を用いて活用方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 歯科衛生過程の目的を述べるができる。 SOPIEについて理解することができる。 8つのヒューマンニーズを分類することができる。 歯科衛生診断の立て方を理解することができる。 長期目標・短期目標を立てることができる。 歯科衛生診断を立てることができる。 長期目標・短期目標を立てることができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 進行状況に応じて指示する。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・グループワーク</p>	<p>岡元</p>
---	----------------------------	--	-----------

科目名 「 歯科診療補助論Ⅲ 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	小櫃 綾乃

学習目標 (GIO)	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な知識、技能および態度を身につける。
担当教員	歯科医療管理学：河野 善治 歯科麻酔学：石橋 肇 顎顔面外科学：友木 里沙 専任教員：小櫃 綾乃、中澤 広美、和田 由紀子、岡元 明菜
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 新歯科衛生士教本 『歯科診療補助』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 新歯科衛生士教本 『歯科器械の知識と取り扱い』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 新歯科衛生士教本 『歯科材料の知識と取り扱い』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株)
参考図書	最新歯科衛生士教本 『歯科医療倫理』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『咀嚼障害・咬合異常 歯科矯正』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論 第2版』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯科機器』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯科材料』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』 医歯薬出版 (株) 歯科衛生士版 『全身管理と救急蘇生法』 渋谷鉦監修 学際企画 歯科衛生士講座 『歯科衛生士のための口腔外科学』 古森孝英編著 永末書店
評価方法 (EV)	講義は定期試験、実習は実習課題にて評価し、履修態度と合わせて総合的に評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	2 学年ではさらに専門的な各診療科における歯科診療補助について学んでいく。 1 学年で学んだ基本的な知識・技能・態度を繰り返し訓練し、後期の臨床実習に向けて、手技を高めてほしい。手技を得る科目であるため、毎時間を大切に臨む必要がある。医療人として体調管理を行い欠席しないよう心がけること。原則として欠席した学生への補講は行わない。わからないことやできないことは、講義・実習の中で積極的に質問し、その場で解決すること。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6 (木)	医療安全管理	【授業の一般目標】 歯科診療において偶発事故を起こさないために、医療安全を再認識し、場面に応じた適切な知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・医療安全の目標を述べることができる。 ・偶発事故について適切な対応法を説明できる。 ・安全な器具の拭き取り操作を実施できる。 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』第5章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習	小 櫃 中 澤 和 田

<p>第2回 4/13 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助～矯正歯科～</p>	<p>【授業の一般目標】 矯正歯科治療時の補助に対応するために必要な治療手順，薬剤および器材の使用法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・治療時に必要な器材の名称と用途を説明し，準備ができる。 ・接着剤の種類と用途を説明し，準備ができる。 ・スーパーボンドの取り扱いができる。 【準備学習項目・時間】 ・最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』第4章6を読んでおくこと。 ・最新歯科衛生士教本『咀嚼障害・咬合異常2 矯正歯科』Ⅲ編2章 参考(60分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小 櫃</p>
<p>第3回 4/20 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～保存治療①～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存治療の補助に対応するために必要な治療手順，薬剤および器材の使用法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・防湿法の種類を列挙できる。 ・防湿法に用いる器具や材料の名称と用途を説明できる。 ・ラバーダム防湿の使用器材の名称・取り扱い・術式を述べることができる。 ・歯肉圧排，隔壁法，歯間分離の使用器具器材の名称・取り扱い，術式を説明できる。 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』3章4を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】</p>	<p>小 櫃</p>
<p>第4回 4/27 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～保存治療②～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存治療の補助に対応するために必要な治療手順，薬剤および器材の使用法を修得する。 講義で学んだラバーダム防湿法，歯肉排除法，隔壁法に必要な器具・器材，装着の流れの技能・態度をマネキン実習にて修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・マネキンにてラバーダム防湿ができる。 ・マネキンにて隔壁法に用いる器具の操作ができる。 ・マネキンにて歯肉排除法に用いる器具の操作ができる。 ・マネキンにて歯間分離法に用いる器具の操作ができる。 【準備学習項目・時間】 講義の内容を十分に復習して臨むこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>小 櫃 中 澤 河 野</p>
<p>第5回 5/11 (木) 第6回 5/18 (木) 第7回 5/25 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～保存治療③～</p>	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で修得した内容をもとに、実際の口腔内で完全防湿ができるようになるためにラバーダム防湿に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・患者にラバーダム装着の説明ができる。 ・ラバーダム防湿1歯露出法を実施できる。 【準備学習項目・時間】 講義で学んだ器具の名称・用途・術式を十分復習して臨むこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>小 櫃 中 澤 和 田</p>

<p>第8回 6/1 (木)</p>	<p>歯科治療中の全身 的偶発症への対応 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 安全な歯科医療を提供するために、歯科治療中の全身の偶発症の症状及び対応法を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. バイタルサインを把握できる。 2. 患者を状況に応じた適切な体位にすることができる。 3. 神経性ショックと過換気症候群の症状及び対処法を説明できる。 4. 一次救命処置(BLS)について説明できる。 【準備学習項目・時間】 バイタルサインについて (60分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>石 橋</p>
<p>第9回 6/8 (木)</p>	<p>歯科治療中の全身 的偶発症への対応 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 患者急変時に対応できるように、一次救命処置を身につける。 【行動目標 (SB0s)】 1. 周囲の安全確認を行える。 2. 胸骨圧迫を行える。 3. 口対口人工呼吸を行える。 4. AEDを安全に使用できる。 【準備学習項目・時間】 一次救命処置の手順を復習しておく。(60分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>石 橋 小 中 櫃 澤</p>
<p>第10回 6/15 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～口腔外科①～</p>	<p>【授業の一般目標】 ・口腔外科治療の補助に対応するために必要な治療手順、薬剤および器材の使用法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・口腔外科治療の概要を述べることができる。 ・抜歯、外科外来手術について説明できる。 □術後の痛みの指導について説明できる。 【準備学習項目・時間】 『歯科衛生士のための口腔外科学』第3章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>友 木</p>
<p>第11回 6/22 (木)</p>	<p>歯科診療時の診療 補助 ～口腔外科②～</p>	<p>【授業の一般目標】 ・口腔外科治療の補助に対応するために必要な治療手順、薬剤および器材の使用法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・抜歯の手順、使用器具の名称、取り扱いを説明できる。 □外来外科手術器具器材の取り扱いを説明できる。 【準備学習項目・時間】 『歯科衛生士のための口腔外科学』第3章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>友 木</p>
<p>第12回 第13回 6/29 (木) (時間延長)</p>	<p>実技試験</p>	<p>【授業の一般目標】 主要歯科材料を正しく取り扱うために必要な手技を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・後期臨床実習に向けて、主要歯科材料の取り扱いについて実技試験を実施し、形成的評価を行う。 【準備学習項目・時間】 1学年で学んだ主要歯科材料の取り扱いについて十分に復習・訓練して試験に臨むこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小 中 和 岡 櫃 澤 田 元</p>

<p>第14回 7/13 (木)</p>	<p>実技試験</p>	<p>【授業の一般目標】 主要歯科材料の取り扱いについて自分の手技を振り返り、改善点を見つけ、臨床実習に向け確実な手技を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 ・フィードバックから試験を振り返り、実技の向上を図ることができる。 【準備学習項目・時間】 ・自分自身で実技試験について振り返りをしておくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 実技試験のフィードバック</p>	<p>小 櫃 中 澤 和 田 岡 元</p>
<p>第15回 7/20 (木)</p>	<p>まとめ</p>	<p>【授業の一般目標】 主要歯科材料の取り扱いについて自分の手技を振り返り、改善点を見つけ、臨床実習に向け確実な手技を身につける。後期の臨床実習に備え、実技や知識の不足部分を補い、総まとめ行う。 【行動目標 (SBOs)】 ・自信をもって主要歯科材料が取扱えるよう手技を確実なものにできる。 【準備学習項目・時間】 ・自分自身で実技試験について振り返りをしておくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>小 櫃 中 澤 和 田</p>

科目名 「 臨床検査学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	福本雅彦

学習目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> 臨床検査の歴史とその重要性を理解する。 臨床検査で扱われる検査材料、検査項目を理解する。 検査成績を読んで理解できるようにする。
担当教員	福本雅彦、淵上真奈
教科書	最新歯科衛生士教本 臨床検査 医歯薬出版
参考図書	金井 泉 臨床検査概要 金原出版
評価方法 (EV)	試験は定期試験と小試験を行い、成績は点数及び出席状況、授業態度を総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	臨床検査の目的ならびにその実施内容について十分理解し、臨床検査の補助ならびに介助を行えるようになってほしい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	臨床検査学総論	<p>【授業の一般目標】 臨床検査学とはどのような学問か理解し説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床検査に用いられる検査材料の種類とその取り扱いを説明できる。 2. 歯科診療における臨床検査の重要性を理解し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】(30分) 生化学、生理学、組織・解剖学を十分理解できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	福本雅彦 淵上真奈
第2回 4/13	尿検査	<p>【授業の一般目標】 尿検査の必要性及び検査法、検査項目について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床検査に用いられる検査材料の種類とその取り扱いを説明できる。 2. 各検査項目の臨床的意義を理解し説明できる。 3. 尿検査の利点・欠点を説明できる。 4. 尿検査の項目と臨床的意義について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】(30分) 1. 生化学、生理学、組織・解剖学を十分理解できる。 2. 解剖学的・組織学的な腎臓の特徴を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	福本雅彦 淵上真奈

<p>第3回 4/20</p>	<p>血液検査</p>	<p>【授業の一般目標】 血液の組成、役割及び造血臓器等について理解できる。 【行動目標 (SB0s)】 1. 臨床検査に用いられる検査材料の種類とその取り扱いを説明できる。 2. 各検査項目の臨床的意義を理解し説明できる。 3. 血液の組成と役割を説明できる。 4. 血液検査の項目と臨床的意義について説明できる。 【準備学習項目】(30分) 生化学、生理学、組織・解剖学を十分理解できる。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>福本雅彦 渕上真奈</p>
<p>第4回 4/27</p>	<p>採血法・血液型</p>	<p>【授業の一般目標】 採血法および血液型について理解できる。 【行動目標 (SB0s)】 1. 採血方法を説明できる。 2. 血液型を説明できる。 【準備学習項目】(30分) 1. 血液の組成や働きを説明できる。 2. 静脈の位置を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>福本雅彦 渕上真奈</p>
<p>第5回 5/11</p>	<p>貧血の検査 I</p>	<p>【授業の一般目標】 貧血について理解できる。 【行動目標 (SB0s)】 1. 貧血の定義を説明できる。 2. 貧血の一般症状を説明できる。 【準備学習項目】(30分) 赤血球の働きについて説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>福本雅彦 渕上真奈</p>
<p>第6回 5/18</p>	<p>貧血の検査 II</p>	<p>【授業の一般目標】 貧血について理解できる。 【行動目標 (SB0s)】 1. 貧血の分類を説明できる。 2. 代表的な貧血とその特徴を説明できる。 3. 貧血患者の歯科診療の対応について説明できる。 【準備学習項目】(30分) 赤血球の働きについて説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>福本雅彦 渕上真奈</p>
<p>第7回 5/25</p>	<p>出血性素因の検査 I</p>	<p>【授業の一般目標】 出血性素因を理解できる。 【行動目標 (SB0s)】 1. 止血の機序を説明できる。 2. 血液凝固因子の種類および働きを説明できる。 3. 出血性素因の定義および原因を説明できる。 4. 出血性素因を原因別に調べる検査項目および検査意義を説明できる。 【準備学習項目】(30分) 血小板および凝固因子の働きを説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>福本雅彦 渕上真奈</p>

第8回 6/1	出血性素因の検査Ⅱ	<p>【授業の一般目標】 出血性素因を理解できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 代表的な出血性素因とその特徴を理解し説明できる。 2. 出血性素因患者の歯科治療の対応を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】(30分) 血小板および凝固因子の働きを説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	福本雅彦 淵上真奈
第9回 6/8	平常試験・解説	<p>【授業の一般目標】 今までの授業の内容を理解できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 総論、貧血および出血素因について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】(60分) 今まで学習した内容について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	福本雅彦 淵上真奈
第10回 6/15	糖尿病の検査Ⅰ	<p>【授業の一般目標】 糖尿病について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 糖尿病の定義を説明できる。 2. インスリンの働きを説明できる。 3. 糖尿病の種類と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】(30分) 糖代謝について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	福本雅彦 淵上真奈
第11回 6/22	糖尿病の検査Ⅱ	<p>【授業の一般目標】 糖尿病について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 糖尿病の種類と特徴を説明できる。 2. 糖尿病の症状および合併症を説明できる。 3. 糖尿病を調べるための検査項目を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】(30分) 糖代謝について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	福本雅彦 淵上真奈
第12回 6/29	感染症の検査	<p>【授業の一般目標】 炎症・感染症について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 炎症・感染症に関連する検査項目を列挙できる。 2. B・C型肝炎ウイルスの病態および検査方法を説明できる。 3. HIV感染症の病態および検査方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】(30分) 炎症・感染症の概要が説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	福本雅彦 淵上真奈
第13回 7/6	肝機能の検査	<p>【授業の一般目標】 肝臓の働き・検査を理解できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 肝臓の機能を説明できる。 2. 肝機能に関連する検査項目を列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】(30分) 1. 肝臓の解剖学的・組織学的特徴を説明できる。 2. 栄養代謝を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	福本雅彦 淵上真奈

<p>第14回 7/13</p>	<p>腎機能の検査</p>	<p>【授業の一般目標】 腎臓の働き・検査を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 腎臓の機能を説明できる。 2. 腎臓に関連する検査項目を列挙できる。 【準備学習項目】(30分) 腎臓の解剖学的・組織学的特徴を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>福本雅彦 渕上真奈</p>
<p>第15回 7/20</p>	<p>まとめⅡ</p>	<p>【授業の一般目標】 今までの授業の内容を理解できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 今までの授業の内容について説明できる。 【準備学習項目】(60分) 今まで学習した内容について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>福本雅彦 渕上真奈</p>

科目名 「看護学・生体管理学」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	石橋 肇・神 尚子

学習目標 (GIO)	安全で快適な歯科治療を提供するために、看護学と生体管理学を理解する。
担当教員	石橋 肇・神 尚子・伊藤 千佳
教科書	・歯科衛生士のための看護学大意 第3版 医歯薬出版株式会社 ・歯科衛生士版 全身管理と救急蘇生法・監修 渋谷 鉦・学際企画
参考図書	・救急蘇生法の指針〈2015〉市民用・解説編 改訂5版・監修 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会・へるす出版 ・歯科麻酔学 第7版・金子讓監修・医歯薬出版 ・スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版・編集 小谷順一郎・学建書院
評価方法 (EV)	平常試験・定期試験・提出物・出席状況・授業態度を加味し、総合的に評価。
学生へのメッセージ オフィスアワー	安全、安心な歯科治療のためには生体管理学の知識は必要不可欠である。また、歯科衛生士としてはもちろんのこと一般市民として救急処置が必要な場面に遭遇した場合、すぐさま自信を持って対応のできる能力を身につけるよう、真剣な態度で授業に臨んで欲しい。 歯科衛生士に必要な基本的看護知識と技術を楽しく学びましょう。 月曜日16:30～17:30

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10	病院における歯科衛生士の役割 看護の概念	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療チームの一員としての歯科衛生士の役割を理解する。 <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の3本柱を述べるができる。 ・病院内における歯科衛生士の役割を具体的に述べるができる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書より歯科衛生士の役割を理解しておく。 <p>【学習方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 <p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の歴史から看護とは何かを学ぶ。 ・看護の定義と健康の定義について理解する。 ・看護の対象を理解し、看護の基本的役割を学ぶ。 <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の基本的役割を説明できる。 ・看護の対象・特徴を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書より看護の対象の特徴・基本的役割を顎しておく。 <p>【学習方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 	神 尚子 伊藤 千佳

<p>第2回 4/17</p>	<p>バイタルサイン ① 体温 ② 脈拍 ③ 呼吸 ④ 血圧</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> バイタルサインとは何かを理解する。 バイタルサインの測定が正確にできる。 <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> バイタルサインとはなにか説明できる。 バイタルサインの正常値を述べることができる。 バイタルサインの測定部位を述べることができる。 脈拍・血圧を測定できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書よりバイタルサインについて学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 実習 	<p>神 尚子 伊藤 千佳</p>
<p>第3回 4/24</p>	<p>患者とのコミュニケーション 患者への支援</p> <p>患者の安全と安楽</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の年代別特徴を理解する。 小児、高齢者、障害者の特徴を理解する。 <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の年代別特徴とその対応が説明できる。 小児、高齢者、障害者への接し方と看護のポイントを説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書より患者支援について学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 <p>授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安楽への援助とは何かを学ぶ。 安楽な体位の工夫が理解できる。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安楽を図るための看護用品を説明できる。 体位の種類を説明できる。 体位変換の手順を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書より患者の安全と安楽について学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 	<p>神 尚子 伊藤 千佳</p>
<p>第4回 5/1</p>	<p>摂食 その他の看護技術</p> <p>病院外来での業務</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養と食事の意義について理解する。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔疾患の症状にあわせた食事を説明できる。 摂取方法を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書より摂食について学習しておく。 与薬・吸引等について教科書で学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 <p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来患者の特徴を理解する。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全身疾患を有する患者の診療補助について説明できる。 患者の年代別特徴およびその対応が説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書より病院外来での業務を学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 	<p>神 尚子 伊藤 千佳</p>

<p>第5回 5/8</p>	<p>歯科麻酔学概論</p> <p>全身状態の評価</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科麻酔学の概要とその歴史を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 麻酔学の発達と歴史について述べることができる。 2. 麻酔学について説明できる。 3. 歯科麻酔の特殊性について説明できる。 4. 歯科麻酔における歯科衛生士の役割を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 麻酔の歴史の概要を述べるができる。(30分) 2. 麻酔学の説明ができる。(30分) <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【授業の一般目標】 全身状態の評価を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全身状態の評価の重要性について説明できる。 2. 全身状態の評価に必要な項目について述べるができる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全身状態の評価を行うために必要な項目を列挙できる。(30分) <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>石橋 肇</p>
<p>第6回 5/15</p>	<p>局所麻酔法</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療に用いられる局所麻酔法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 局所麻酔法の定義を述べるができる。 2. 歯科で用いられる局所麻酔法の種類を説明できる。 3. 局所麻酔薬について説明できる。 4. 血管収縮薬の功罪について説明できる。 5. 局所麻酔に使用する器具とその取り扱いについて述べることができる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 局所麻酔法を説明できる。(20分) 2. 歯科で用いられる局所麻酔法を列挙できる。(20分) 3. 局所麻酔薬に血管収縮薬を添加する理由を説明できる。(20分) 4. 自律神経の働きを説明できる。(20分) <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>石橋 肇</p>
<p>第7回 5/22</p>	<p>精神鎮静法</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療に用いられる精神鎮静法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神鎮静法の定義を述べることができる。 2. 笑気吸入鎮静法の説明ができる。 4. 静脈内鎮静法の説明ができる。 5. 鎮静法の利点・欠点を述べることができる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神鎮静法に使用する薬剤を列挙できる。(10分) 2. 精神鎮静法の意義を説明できる。(20分) 3. 静脈内鎮静法の特徴を述べることができる。(30分) <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>石橋 肇</p>
<p>第8回 5/29</p>	<p>平常試験・解説講義</p>		<p>石橋 肇 神 尚子 伊藤 千佳</p>

<p>第9回 6/5</p>	<p>入院を要する患者の看護</p> <p>口腔ケア</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔外科疾患を有する患者の基本的看護について理解する。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔外科領域の特徴を理解し、入院患者の看護について説明できる。 口腔疾患を有する患者の栄養について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書より入院を要する患者の看護を学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 <p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアの必要性が理解できる。 摂食、嚥下障害のある患者に対する口腔ケアについて理解できる。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアの目的を説明できる。 口腔ケアの方法・注意点を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書より口腔ケアについて学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 	<p>神 尚子 伊藤 千佳</p>
<p>第10回 6/12</p>	<p>救急時の看護</p> <p>洗浄・消毒・滅菌</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯科治療時に発生する全身的偶発症を理解し適切な対応ができる。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 神経性ショック及び過換気症候群の原因・症状・処置の要点を説明できる。 一次救命処置の流れが説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書より救急時の看護を学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 <p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 洗浄、消毒、滅菌の必要性を理解する。 器具・器材の洗浄・消毒・滅菌の流れを理解する。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 洗浄・消毒・滅菌の定義を説明できる。 消毒と滅菌の種類及び特徴を説明できる。 洗浄器の特徴を説明できる。 滅菌法の種類と特徴を説明できる。 滅菌の確認方法を説明できる。 滅菌物の保管と取り扱いについて説明できる。 滅菌室の一連の流れを説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書より洗浄・消毒・滅菌について学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 	<p>神 尚子 伊藤 千佳</p>

<p>第11回 6/19</p>	<p>院内感染対策 医療安全対策</p> <p>地域医療活動における 歯科衛生士の 役割</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染予防の基本的な手技について理解する。 ・ 医療安全管理のための基本的な考え方を理解する。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準予防策の定義を説明できる。 ・ 個人防護用具の正しい着脱ができる。 ・ 衛生的な手洗いの手順を実施できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書より感染対策を学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 ・ 実技 <p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療における歯科衛生士の役割を理解する。 ・ 日常生活自立度判定基準を理解する。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問口腔衛生指導の方法について説明できる。 (情報収集・訪問時のマナー・実際について) <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書より地域医療活動における歯科衛生士の役割を学習しておく。 <p>【学習法略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 	<p>神 尚子 伊藤 千佳</p>
<p>第12回 6/26</p>	<p>全身麻酔法</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全身麻酔法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全身麻酔の定義を説明できる。 2. 全身麻酔薬、前投薬、筋弛緩薬について説明できる。 3. 全身麻酔時の気道管理について説明できる。 4. 外来全身麻酔について説明できる。 5. 歯科における全身麻酔の特徴について述べるができる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全身麻酔に使用する薬剤を列挙できる。(20分) 2. 神経筋接合の興奮伝導を説明できる。(30分) 3. 全身麻酔時の気道管理法を列挙できる。(30分) <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p>	<p>石橋 肇</p>

<p>第13回 7/3</p>	<p>歯科における全身 的偶発症 (1)神経性ショック (2)過換気症候群 (3)局所麻酔薬中毒 (4)アドレナリン過 敏症</p> <p>酸素療法 静脈路の確保 心肺蘇生法(二次救 命処置)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療時に発生する全身的偶発症を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 歯科における全身偶発症の原因・症状・救急処置および予 防法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 1. 神経性ショックを説明できる。(15分) 2. 過換気症候群を説明できる。(15分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【授業の一般目標】 全身的偶発症発生時に必要な酸素療法、静脈路の確保及び二 次救命処置を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 酸素療法の適応を述べるができる。 2. 酸素療法の方法を説明できる。 3. 静脈路の確保の重要性を説明できる。 4. 二次救命処置について説明できる。 5. 救命の連鎖における二次救命処置の役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 酸素療法の適応を列挙できる。(10分) 2. 静脈路の確保に必要な器材を列挙できる。(10分) 3. 二次救命処置の内容を列挙できる。(15分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>石橋 肇</p>
<p>第14回 7/10</p>	<p>歯科治療時に全身 管理を必要とする 疾患 (1)高血圧 (2)虚血性心疾患 (3)糖尿病 (4)喘息 (5)副腎皮質機能低 下症</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療時に全身管理を必要とする疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 歯科外来患者に合併する全身疾患の概要を理解する。 2. 全身疾患を有する歯科患者に対する基本的な注意事項を説 明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 1. 高血圧と虚血性心疾患を説明できる。(40分) 2. 糖尿病、喘息及び副腎皮質機能低下症を説明できる。(40 分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>石橋 肇</p>
<p>第15回 7/24</p>	<p>平常試験・解説講義</p>		<p>石橋 肇 神 尚子 伊藤 千佳</p>

科目名 「 臨床実習 I (ポリクリ) 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	オーガナイザー 副校長

学習目標 (GIO)	臨床実習では、付属病院において歯科衛生士業務の実際を学び、歯科衛生士として必要な知識、技能および態度を修得すること、臨地実習では、地域歯科保健活動等の場において歯科衛生士としての役割を理解し、実践できることを目的としている。各講義・実習を通じて後期からの臨床実習と臨地実習を行うための知識・技能・態度を修得する。
担当教員	校長：平塚 浩一 副校長：野本 たかと 教務主任：石橋 肇 専任教員：和田 由紀子, 小櫃 綾乃, 中澤 広美, 岡元 明菜, 移川 明美 松島 潔, 齊藤 孝親, 松野 昌展, 各科臨床実習指導医・指導者
教科書	各内容に応じて教科書を指定する。
参考図書	必要に応じて、参考図書あるいは参考文献を指定する。
評価方法 (E V)	平常試験を行う。そのほかの実習に関しては実習課題、実習態度、平常試験等により総合的に評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	後期から始まる臨床実習に向けての実習です。各診療科の指導者による臨床実習に向けての実習があるので、付属病院への登院をイメージし自ら学ぶ姿勢で取り組み、後期に役立てていきましょう。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/7(金)	総合ガイダンス グループディスカッション	【授業の一般目標】 臨床実習・臨地実習に対する心構えについて考え、理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ・臨床実習、臨地実習の必要性を考える。 ・グループディスカッションで積極的に実習の必要性を理解した発言ができる。 【準備学習項目・時間】 シラバスを読み、授業内容を把握しておくこと。(15分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習	野本 和田
	キュレットスケーラー のシャープニング	【授業の一般目標】 シャープニングを行うのに必要な知識、技術を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・シャープニングについて説明できる。 ・適切にシャープニングができる。 【準備学習項目・時間】 1学年前期で行った鎌形スケーラーのシャープニングについて概説できる。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習	和 田 小 櫃 中 澤
第2回 4/14(金)	高齢者疑似体験実習 プレート装着実習 (義歯体験)	【授業の一般目標】 高齢者の身体的および精神的変化を理解するために疑似体験を行い、高齢者について理解を深める。 【行動目標 (SB0s)】 ・高齢者の身体的変化を感じられる。 ・高齢者の身体的変化に伴う心理を推察できる。 ・歯科診療補助論で作成したプレートを装着し、装着時の違和感、不自由さを体験し義歯装着者の心理を理解できる。 【準備学習項目・時間】 ・1学年 歯科診療補助論で作成したプレートの準備および試適をしておく。 ・高齢者の身体的特徴について調べておくこと。(計30分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習	和 田 小 櫃 中 澤
	口腔内清掃法① (電動歯ブラシ)	【授業の一般目標】 良好な口腔内環境を維持するために、患者診療で必要不可欠な知識、技術を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 電動歯ブラシの種類、使用方法について説明できる。 【準備学習項目・時間】 電動歯ブラシの種類、使用方法についての復習。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習 (ヨシダ)	和 田

第3回 4/21(金)	マネキン実習 【全顎】	<p>【授業の一般目標】 1学年で修得したマネキン実習の総まとめとし、マネキン操作の技能向上を図る。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネキンを使っての手用スケーラーの操作が適切かつ円滑にできる。 ・マネキンを使っての歯面研磨が適切かつ円滑に行える。 <p>【準備学習項目】 手用スケーラーおよび歯面研磨の操作方法についての復習。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	和 田 小 櫃
	歯冠形態作成実習	<p>【授業の一般目標】 歯の形態的特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大白歯の形態的特徴を説明できる。 ・大白歯の形態をスケッチおよび彫刻にて表現することができる。 <p>【準備学習項目・時間】 詳細は別途指示。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義と実習</p>	松 野
第4回 4/28(金)	PMTC講義 PMTC実習 口腔内清掃法② (電動歯ブラシ)	<p>【授業の一般目標】 良好な口腔内環境を維持するために、これからの患者診療で必要不可欠な知識、技術および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PMTCの目的、術式を説明できる。 ・PMTCに使用する器具を理解し、操作できる。 ・電動歯ブラシの種類、使用方法について説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PMTCの目的について復習しておくこと。 ・電動歯ブラシの種類、使用方法についての復習。(計30分) <p>【学習方略 (LS)】 講義と実習 (GC)</p>	和 田 小 櫃
第5回 5/12(金)	相互実習①【全顎】 探針操作 スケーラー操作 歯面研磨 洗浄・貼薬	<p>【授業の一般目標】 今までブロック毎に学んだ技能を活かし全顎を安全かつ適切に操作することで、確実に円滑な操作方法および患者対応を体得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各術式が安全かつ円滑に操作できる。 ・患者に配慮した対応ができる。 <p>【準備学習項目・時間】 術式の確認およびタイムテーブルを考えておくこと。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	和 田 小 中 櫃 澤
第6回 5/19(金)	相互実習②【全顎】 歯周精密検査 探針操作 スケーラー操作 歯面研磨	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での患者診療を想定し、歯周精密検査、スケーリング相互実習を行うことにより、確実に円滑な操作方法を体得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周精密検査を的確にできる。 ・スケーリングおよび歯面研磨が安全かつ適切に行える。 ・患者に配慮した対応ができる。 <p>【準備学習項目・時間】 各術式の操作方法についての復習および練習。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	和 田 小 中 櫃 澤

第7回 5/26(金)	診療補助実習 歯周科 (歯周精密検査・ Gスケーラー操作・ 歯周外科処置の器材に ついて)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周精密検査を的確かつ迅速に行える。 ・Gスケーラーの操作方法を理解し、安全かつ適切に操作できる。 ・歯周外科処置に必要な器材の名称と用途、術式を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 実習に必要な術式についての予習・復習。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義と実習</p>	小 方 和 田
	予防管理室における 学生実習について I	<p>【授業の一般目標】 予防管理室で使用している患者診療に関する書類の記載方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 予防管理室で使用している書類がどのようなものかを知る。</p> <p>【準備学習項目・時間】 2学年前期 保健指導論：第5回(業務記録について)の復習。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡 元
第8回 6/2(金)	口腔内写真撮影に ついて	<p>【授業の一般目標】 口腔内写真についての知識および撮影技術、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内写真撮影の目的について説明できる。 ・口腔内写真をスムーズに撮影できる。 ・患者の不快に配慮できる。 <p>【準備学習項目・時間】 口腔内写真についての予習。(歯科予防処置論の教科書参照・30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義と実習</p>	和田 移川 中澤
	診療補助実習 矯正歯科 (バンディング・ DBS・結紮・印象採 得・口腔内写真撮影)	<p>【授業の一般目標】 歯科矯正治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療時に必要な器材の名称と用途を説明できる。 ・診療補助時に必要な手順を説明できる。 ・口腔内および顔面写真の撮影手順を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 実習に必要な術式についての予習・復習。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	根 岸 石 井 清 水 和 田
第9回 6/9(金)	予防管理室における 学生実習について II	<p>【授業の一般目標】 予防管理室で使用している患者診療に関する書類の記載方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 患者診療に関する書類に記載できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 第8回の講義内容の復習。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義と実習</p>	和 田 小 櫃 中 澤 岡 元
	予防管理室における 学生実習について III	<p>【授業の一般目標】 予防管理室の患者診療および診療システムについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者診療に関する書類の記載が完了できる。 ・予防管理室での診療システムを説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 第8回の講義内容を概説できる。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義と実習</p>	和 田
	注射法実習	<p>【授業の一般目標】 安全な歯科治療を提供するために注射法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注射法の種類を列挙できる。 ・注射法の種類による効果発現時間の違いを説明できる。 ・静脈注射の手順を説明できる。 ・点滴セットの組み立てを説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】 薬物の投与経路とそれぞれの効果発現時間を確認しておく。(30分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	石 橋

第10回 6/16(金)	診療補助実習 歯内療法 (根管治療・充填)	【授業の一般目標】 歯内療法治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・根管治療および根管充填に必要な器材の名称と用途を説明できる。 ・診療補助時に必要な手順を理解し、説明できる。 【準備学習項目・時間】 実習に必要な術式についての予習・復習。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習	松 島 和 田
	診療補助実習 小児歯科 (生活歯髄切断法)	【授業の一般目標】 小児歯科における歯科衛生士業務を行えるようになるために、生活歯髄切断法に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・生活歯髄切断法に必要な器材の名称と用途を説明できる。 ・診療補助時に必要な手順を理解し、説明できる。 ・生活歯髄切断法の診療補助ができる。 【準備学習項目・時間】 実習に必要な術式についての予習・復習。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習	伊 藤 小 川 和 田
第11回 6/23(金)	診療補助実習 口腔外科 (血圧測定・滅菌グローブの装着・メスの着脱・注射筒の取扱い・縫合糸取り付け)	【授業の一般目標】 口腔外科治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・血圧測定が適切かつ正確にできる。 ・滅菌グローブを正しい方法で装着できる。 ・メスの着脱方法を理解し、安全に行える。 ・注射筒に局所麻酔と注射針を正しく安全に装着できる。 ・縫合糸の取り付けが迅速かつ安全にできる。 【準備学習項目・時間】 実習に必要な器具についての予習・復習。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習	友 木 和 田
	診療補助実習 保存修復 (レジン充填, 連合印象採得)	【授業の一般目標】 保存修復治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・診療時に必要な器材の名称と用途を説明できる。 ・診療補助時に必要な手順を説明できる。 【準備学習項目・時間】 実習に必要な術式についての予習・復習。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習	岡 田 和 田
第12回 6/30(金)	平常試験		
	臨地実習説明 ・幼稚園 ・保健福祉センター ・高齢者施設 ・障がい者施設	【授業の一般目標】 臨地実習の概要を理解し、地域保健活動についての知識を深める。 【行動目標 (SB0s)】 各実習施設での実習内容について把握できる。 【準備学習項目・時間】 地域保健活動について概説できる。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義	和 田
	患者診療の実際	【授業の一般目標】 予防管理室における、電子カルテシステムに基づいた業務記録の入力方法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 電子カルテの入力方法を概説できる。 【準備学習項目】 歯科衛生士業務記録の記載内容の復習。(15分) 【学習方略 (LS)】 講義と実習	齊 藤 和 田 岡 小 元 櫃
第13回 7/7(金)	登院前ガイダンス I - ①	【授業の一般目標】 臨床実習前に各科診療室・部署について理解を深め、臨床実習に必要な知識・技術および態度を知る。 【行動目標 (SB0s)】 ・登院に必要な事柄を説明できる。 ・病院見学実習の目標を立てることができる。 【準備学習項目】 各自、臨床実習で自分に何が必要か考えておくこと。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義	各科 指導医 指導者
第14回 7/14(金)	登院前ガイダンス I - ② 平常試験の解説講義		
第15回 7/21(金)	登院前ガイダンス I - ③ 病院見学		

【病院見学実習】

<p>9/19 (火)</p>	<p>病院見学実習について</p>	<p>【授業の一般目標】 病院見学実習に向けての心構え，注意事項について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 病院見学実習での目標を列挙できる。 【準備学習項目・時間】 登院前ガイダンス I の復習。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>野 本 和 田</p>
<p>9/21 (木) 22 (金) 25 (月) 26 (火) 27 (水) 28 (木)</p>	<p>病院見学実習</p>	<p>【授業の一般目標】 後期から登院する診療科に行き，大学病院での歯科衛生士・看護師の役割について理解する。また各診療室での診療に関するシステムについて理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ・診療室での歯科衛生士・看護師の役割を述べる。 ・診療室のルールを列挙できる。 【準備学習項目・時間】 ・登院前ガイダンス I の復習。 ・見学科に必要な事前学習。 ・体調管理をしっかり行うこと。(各日90分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>各科 指導医 指導者</p>
<p>9/29 (金)</p>	<p>登院前ガイダンス II ・登院に際しての心構え ・付属病院の概要 ・医療安全管理 ・臨床実習について</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習先である大学病院の歯科医療における歯科衛生士の役割について理解し，登院に際しての心構えをする。 【行動目標 (SB0s)】 ・登院に際しての心構えについて考える。 ・診療に関する諸手続き等の概要について述べるができる。 ・医療安全管理，感染予防策について説明できる。 【準備学習項目・時間】 臨床実習に対する心構えについて考えておくこと。(30分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>病院長 病院管理課 課長 山 口 和 田</p>
	<p>戴帽式リハーサル</p>	<p>専任教員</p>	

科目名 「 障害者歯科学Ⅱ 」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	野本 たかと

学習目標 (GIO)	障害者歯科学は、障害児者に対する歯科医療および地域歯科保健によって体型づけられている。障害者の地域生活支援体制が強化されている現在、地域歯科保健活動に携わる歯科衛生士として、障害児者の歯科医療に関わっていく必要がある。そのために障害児者の身体的・精神的・社会的背景ならびにそれらによって引き起こされる行動特性を十分に理解し、個々に適した口腔保健活動を担う歯科衛生士としての知識を修得する。
担当教員	野本たかと、伊藤政之、梅澤幸司、田中陽子、遠藤眞美、井樋加奈子
教科書	最新歯科衛生士教本 障害者歯科 (医歯薬出版)
参考図書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科, 歯科衛生士のための障害者歯科, 新歯科衛生士教本 小児歯科, スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科, 障害者歯科ガイドブック, 有病者・高齢者歯科治療マニュアル (以上全て医歯薬出版), 歯科衛生士のための有病者歯科医療(クインテッセンス出版), 歯科衛生士講座 障害者歯科学 (永末書店)
評価方法 (EV)	原則として定期試験(100%)を評価点とする。定期試験は、各講義担当教員が出題し、その総合評価とする。なお、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	何らかの配慮が必要な人々はこの歯科医療機関でも治療を受ける権利があります。全ての人々が末永く住み慣れた地域でのQOLが保たれた地域での生活を営むことを推奨している現在、すべての歯科衛生士が障害児者の口腔の健康増進を支援する義務があります。講義を介して地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識することを念頭に受講してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日 8:30～17:30 質問があれば研究室に来てください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/2	精神障害と 歯科医療 その1 基本的事項	<p>【授業の一般目標】 精神障害者への適切な歯科医療提供のために必要な基礎的知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 精神障害を引き起こす疾患で、臨床上接する機会の多い障害の定義を説明できる - 統合失調症, うつ病, 双極性障害, 気分障害など 2. 精神障害者の置かれた生活・社会環境について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 精神障害を引き起こす疾患の原因と、能力・機能障害を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して精神障害の病態を知り、それによる生活および社会的背景への影響について学ぶ</p>	遠藤

<p>第2回 10/16</p>	<p>精神障害と 歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 精神障害者への適切な歯科医療提供のために必要な基礎的知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 精神障害者に認められる口腔の特徴および特異な口腔疾患・口腔機能を説明できる 2. 精神障害者に対する歯科診療上必要な特別な配慮について説明できる 【準備学習項目・時間】 精神障害を引き起こす疾患の原因と、能力・機能障害を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して精神障害の状態と口腔環境との関係性を知り、歯科診療上必要な配慮について学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第3回 10/23</p>	<p>中途障害と歯科医療 その1 基本的項目</p>	<p>【授業の一般目標】 中途障害や難病により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識と歯科的対応について修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 厚生労働省指定難病の対象について説明できる 2. よく見られる中途障害の原因とその病態について説明できる － 脊髄損傷, 慢性関節リウマチ, Parkinson病, 脊髄小脳変性症, 筋委縮性軸索硬化症, 高次脳機能障害, 慢性代謝疾患など－ 3. 中途障害や難病の患者の置かれた現状と環境について説明できる 【準備学習項目・時間】 ヒトのライフサイクルと障害の発生について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して現在の歯科医療の対象者は多種多様であり、歯科医療従事者として必要な医学的知識を学ぶ</p>	<p>梅澤</p>
<p>第4回 10/30</p>	<p>中途障害と歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>【授業の一般目標】 中途障害や難病により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識と歯科的対応について修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 良くみられる中途障害や難病における口腔機能の特徴を説明できる － 脊髄損傷, 慢性関節リウマチ, Parkinson病, 脊髄小脳変性症, 筋委縮性軸索硬化症, 高次脳機能障害, 慢性代謝疾患など－ 2. よく見られる中途障害や難病の患者に対する歯科治療における配慮すべき項目を説明できる 【準備学習項目・時間】 ヒトのライフサイクルと障害の発生について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して現在の歯科医療の対象者は多種多様であるうえ口腔疾患と全身疾患が深い関係があることを認識し、歯科医療従事者として多くの医学的知識を修得した上で口腔保健を担い、健康増進に努める必要があることを学ぶ</p>	<p>梅澤</p>

<p>第5回 11/6</p>	<p>障害児者の 身体・心理発達</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する歯科医療における適切な支援方法を修得するために、基本的な身体・心理発達およびその関連背景を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 発達段階および発達検査を説明できる 2. 障害児者の歯科診療における問題行動と発達心理の関係性について説明できる 【準備学習項目・時間】 障害とは何か、また障害児者のおかれた社会的環境を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者の歯科診療においては治療技術だけではなく、心理学的背景を理解する必要があることを学ぶ</p>	<p>田中</p>
<p>第6回 11/13</p>	<p>歯科診療に対する 行動療法の応用1</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科診療場面における行動療法の意義を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 行動療法の基礎となる学習理論および行動療法の基本的事項について説明できる 2. 歯科診療に行動療法を応用する意義と基本的な考え方を説明できる 3. 障害児者の行動上の特徴について説明できる 【準備学習項目・時間】 行動観察法の意義と手段を理解し、適切な導入方法を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して歯科診療場面にみられる障害児者の行動に対する行動療法の適切な応用方法を習得するために、その基礎となる学習理論に基づいた行動療法とは何かを学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>
<p>第7回 11/20</p>	<p>歯科診療に対する 行動療法の応用2</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科診療場面にみられる障害児者の行動に対する適切な行動療法の適切な応用方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 薬物を用いない行動調整法について説明できる 2. 薬物を用いた行動調整法について説明できる 【準備学習項目・時間】 障害児者の行動上の特徴を理解し、行動理論に基づいた行動療法を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して歯科診療場面において障害児者にみられる行動の適切な評価により個々に適した行動調整法を選択する必要があることを学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>
<p>第8回 11/27</p>	<p>障害児者に対する 歯科診療への導入</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者が歯科診療を受容できるような適切な導入方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 発達と歯科診療受容について説明できる 2. Foxのgrab bagについて説明できる 3. 歯科診療への導入方法 (オリエンテーション) の意義を説明できる 4. オリエンテーションの計画立案と実際の流れについて説明できる 【準備学習項目・時間】 障害児者の身体・心理発達と行動の関係性を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介し、障害児者の歯科診療受容に対する支援方法を修得するために必要な行動観察法と適切な導入方法について学ぶ</p>	<p>伊藤政</p>

<p>第9回 12/4</p>	<p>診療補助とFour Handed Dentistry</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する歯科診療時に行う適切な補助方法を修得するために、基礎となるFour Handed Dentistryについて理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科医療における人間工学と時間動作効率について説明できる 2. 障害者歯科医療に適した診療設備の配置について説明できる 3. 障害者歯科医療に適した術者・患者・介補者の位置関係について説明できる 4. 障害者歯科医療における適切な器具の受け渡し領域について説明できる 5. Four Handed Dentistryを円滑に行うためのコミュニケーション方法について説明できる <p>【準備学習項目・時間】 障害児者が歯科診療を受容するために必要な支援方法を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 授業を介して歯科衛生士として障害者歯科診療に携わるうえで必要な診療形態を学ぶ</p>	<p>野本</p>
<p>第10回 12/11</p>	<p>障害者の 歯科治療の特徴</p>	<p>【授業の一般目標】 スペシャルニーズがある人の歯科治療において適切な診療補助を行うために、多く見られる問題点と配慮すべき工夫や対応について理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科保存処置における問題点とその対応について説明できる 2. 歯周処置における問題点とその対応について説明できる 3. 補綴処置における問題点とその対応について説明できる <p>【準備学習項目・時間】 障害児者の口腔の特徴と歯科治療における注意事項を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者における歯科処置の問題点とその対応について理解し、口腔衛生管理の重要性を認識する</p>	<p>田中</p>
<p>第11回 12/18</p>	<p>障害者歯科医療におけるリスク管理</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に適正で安全な歯科医療の提供をするために、障害児者の歯科診療の場面において発生しうる医療事故、感染拡大などを認識するとともに、リスク管理の重要性を理解し具体的な予防方法について修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児者に対する歯科診療場面におけるリスク評価方法と安全管理について説明できる 2. 医療事故の原因対応予防対策について説明できる 3. 歯科診療場面における感染リスクと感染予防対策について説明できる <p>【準備学習項目・時間】 障害に起因する全身疾患ならびに行動上の特徴を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して医療事故の発生を伴う可能性が高い障害児者の歯科医療における危機管理能力を修得する</p>	<p>野本</p>

<p>第12回 1/15</p>	<p>障害児者のための 口腔保健</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者の健康増進支援において歯科衛生士として包括的な口腔管理を行うことの重要性を理解し、具体的な計画立案と方法を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害児者における包括的な口腔管理(口腔ケア)について説明できる 2. 障害児者の介護者に対する口腔管理指導の意義を説明できる 3. セルフケアとプロフェッショナルケアについて説明できる 4. 障害児者の口腔管理の具体的な計画立案および方法について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 障害児者の身体・精神・口腔の特徴、行動の特上、環境について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して障害児者に対する歯科衛生課程の手法を修得する</p>	<p>井樋 (野本)</p>
<p>第13回 1/22</p>	<p>摂食嚥下リハビリ テーション 障害の病態と回復</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に対する健康増進支援のための摂食嚥下リハビリテーションの重要性を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害児者における摂食嚥下機能の特徴について説明できる 2. 障害児者に対し摂食・嚥下リハビリテーションを提供する意義を説明できる 3. 障害児者に対する摂食嚥下機能評価方法を説明できる 4. 摂食嚥下リハビリテーション法の実際について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 正常な摂食嚥下機能について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して発達期の障害児者に対する摂食嚥下リハビリテーションの重要性と具体的手法を学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第14回 1/29</p>	<p>障害者地域歯科保 健・医療の提供 その1 基本的事項</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士として障害者のための適切な地域歯科医療保険ならびに医療の提供が実施できるように基本的な医療システムについて理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害者のための歯科医療を提供できる医療機関と場の機能について説明できる 2. 医療連携が必要な障害者とその生活環境・社会環境について説明できる 3. 医療連携について説明できる 4. 訪問診療について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢者も含めた障害児者のおかれた社会環境について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して将来地域歯科医療に携わる歯科衛生士として他業種との連携について学ぶ</p>	<p>梅澤</p>

<p>第15回 2/5</p>	<p>障害者地域歯科保健・医療の提供 その1 保険制度と周術期における医療連携</p>	<p>【授業の一般目標】 社会保障制度に基づいた地域障害者歯科保健・医療を適切に提供するための基礎的知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害者の歯科医療におけるニーズとディマンズについて説明できる 2. 保険制度と歯科医療サービスの関係性について説明できる 3. 周術期における医療連携について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 障害者福祉サービスと介護保険サービスの基本的事項を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して障害者歯科医療を提供するための保険制度と周術期における地域の歯科衛生士としての役割を学ぶ</p>	<p>田中</p>
---------------------	---	--	-----------

科目名 「 歯科予防処置論Ⅳ 」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	移川 明美

学習目標 (GIO)	予防管理室における患者メンテナンスの手順, 必要書類など臨床実習に即した実習を通じ, 歯周基本治療の流れを習得する。歯・口腔の状況に応じた歯科予防処置の知識、技術を習得する。技術の習得のみにとどまらず、実践するために思考し、問題を解決できる力も身につける。
担当教員	移川明美, 和田由紀子, 小櫃綾乃
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) 歯科衛生士教本「歯科衛生士のためのう蝕予防処置法」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株)
参考図書	新歯科衛生士教本「歯科予防処置」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株)
評価方法 (EV)	定期試験・提出物・学習態度など総合的に評価する
学生への メッセージ オフィスアワー	臨床実習での患者診療で確実な操作と技術の向上をするために、必ず復習と日々の訓練を忘れずに行ってほしい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/2	フッ化物局所 応用法	<p>【授業の一般目標】 フッ化物局所応用ができるようになるための知識, 技能, 態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. フッ化物歯面塗布法, トレー法の取り扱いができる。 2. フッ化物歯面塗布法の綿球塗布法・トレー法・塗布後の説明ができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 1年次配布プリント, フッ化物局所応用について復習しておくこと。・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	移川 和田 小櫃
第2回 10/16	齶蝕活動性試験	<p>【授業の一般目標】 齶蝕活動性試験ができるようになるための知識, 技能, 態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 齶蝕活動性試験の条件を説明できる。 2. 齶蝕活動性試験の検体と評価項目を説明できる。 3. 齶蝕活動性試験を実施できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 1年次配布プリント, 齶蝕活動性試験について復習しておくこと。・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	移川 和田 小櫃
第3回 10/23	齶蝕活動性 試験	<p>【授業の一般目標】 齶蝕活動性試験ができるようになるための知識, 技能, 態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 齶蝕活動性試験結果を基に齶蝕予防プログラムを立案できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 齶蝕活動性試験について復習しておくこと。・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	移川

<p>第4回 10/30</p>	<p>補助者との共同動作について</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習における患者診療での補助者の役割を果たすことができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 術者：超音波スケーラーを適切に使用することができる。 補助者：患者に配慮しバキュームテクニック等アシスタントワークを適切に行うことができる。 【準備学習項目・時間】 超音波スケーラーの使用方法を確認しておくこと。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 小櫃</p>
<p>第5回 11/6 第6回 11/13</p>	<p>予防管理室における患者診療の進め方 [想定：初診]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標 (SBOs)】 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学習項目・時間】 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンでスケーラー操作の確認をすること。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 小櫃</p>
<p>第7回 11/20 第8回 11/27</p>	<p>予防管理室における患者診療の進め方 [想定：再診 1回目]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標 (SBOs)】 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学習項目・時間】 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンでスケーラー操作の確認をすること。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 小櫃</p>
<p>第9回 12/4 第10回 12/11</p>	<p>予防管理室における患者診療の進め方 [想定：再診 2回目]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標 (SBOs)】 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 拡大鏡の使用方法を理解する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学習項目】 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンにてスケーラー操作の確認をしておくこと。 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 小櫃</p>

<p>第11回 12/18 第12回 1/15</p>	<p>おける患者診療の進め方 [想定：検査2回目]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標 (SBOs)】 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学習項目・時間】 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンでスクレーパー操作の確認をすること。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 小櫃</p>
<p>第13回 1/22 第14回 1/29</p>	<p>予防管理室における患者診療の進め方 [想定：終了]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標 (SBOs)】 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学習項目・時間】 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンでスクレーパー操作の確認をすること。・60分 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>移川 和田 小櫃</p>
<p>第15回 2/5</p>	<p>平常試験 および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科予防処置論を理解するための知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 歯科予防処置の基礎知識、予防的歯石除去法、齲蝕予防処置法を説明できる。 【準備学習項目】 今までの学習内容を復習しておくこと。 【学習方略 (LS)】 客観試験および講義</p>	<p>移川</p>

科目名 「 歯科保健指導論Ⅳ 」

学年	学期	科目責任者
2学年	後学期	岡元

学習目標 (GIO)	各臨床現場における歯科衛生士の役割を理解し、健康教育を行うために必要な知識・技術・態度を身に付ける。
担当教員	岡元
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 医歯薬出版 (株) 『改訂歯ブラシ辞典』 学健書院 『歯肉を読む』 クインテッセンス (株) 『歯科保健指導関係資料』 一般財団法人 口腔保健協会
参考図書	最新歯科衛生士教本 『歯科衛生学総論』 医歯薬出版 (株) 『歯科衛生ケアプロセス』 医歯薬出版 (株) 『よくわかる歯科衛生過程』 医歯薬出版 (株) 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』 医歯薬出版 (株)
評価方法 (EV)	授業態度、提出物、定期試験を評価する。 必要に応じて小テストを行う。
学生への メッセージ オフィスアワー	実践で臨機応変に対応できるレベルに達することを目標とする。 日々の臨床実習の中で個人に対する患者指導の実際、指導力のスキルアップにつなげる。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/6	歯科衛生教育 I	<p>【授業の一般目標】 公衆衛生現場における衛生教育の目的を知り、歯科衛生士の活躍の場面、役割、活動内容、多職種との連携を学ぶ。特に幼稚園児に対する歯科健診結果に伴う衛生教育について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 幼稚園実習 (歯科検診・フッ素塗布) の知識を身につけることができる。 幼稚園児の口腔内の特徴を理解することができる。 保護者への指導方法を身に付けることができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 1 学年後期に学習した幼児期について復習しておくこと。 (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡元

<p>第2回 10/13</p>	<p>歯科衛生教育Ⅱ</p>	<p>【授業の一般目標】 地域住民の健康を支援する保健センターの役割を理解し、臨地実習に向けて歯科衛生士の業務内容や多職種との連携の必要性を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 保健センターの役割について理解することができる。 各地域の保健センターの特色を理解することができる。 保健センターに勤務する歯科衛生士の役割について把握することができる。 保健センターで行われている事業について把握することができる。 【準備学習項目・時間】 保健センター臨地実習に関する資料を復習しておくこと。(45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第3回 10/20</p>	<p>公衆衛生現場における歯科衛生士の役割</p>	<p>【授業の一般目標】 保健センターに勤務する歯科衛生士の役割と現場で行われている事業について理解し、修得する。 【行動目標 (SB0s)】 地域住民の健康を支援する歯科衛生の必要性を理解することができる。 保健センターに勤務する他職種との連携を理解することができる。 保健センターで行われている事業について理解することができる。 【準備学習項目・時間】 別途指示 (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第4回 10/27</p>	<p>患者診療に向けて</p>	<p>【授業の一般目標】 実際の患者診療において注意すべき点やコミュニケーションの方法を修得する。 歯数の計算の復習、洗口剤・歯磨剤についての理解を深める。 【行動目標 (SB0s)】 各歯垢歯数の計算ができる。 各歯周病歯数の計算ができる。 口腔内状態にあった歯磨剤・洗口剤を選択する方法を考察することができる。 【準備学習項目・時間】 指数計算の授業プリントを復習しておくこと。(45分) 【学習方略 (LS)】 講義・計算</p>	<p>岡元</p>
<p>第5回 11/10</p>	<p>業務記録についてⅡ</p>	<p>【授業の一般目標】 業務記録の記載方法について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 業務記録の記載事項を列記することができる。 記録上の留意点を列記することができる。 当校指定の業務記録用紙に記入することができる。 【準備学習項目・時間】 前期第5回の授業内容を復習しておくこと。(45分) (新歯科衛生士教本歯科診療補助) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>

<p>第6回 11/17</p> <p>第7回 11/24</p>	<p>歯科衛生過程 IV・V</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生過程の必要性を理解するために、事例を用いて活用方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 8つのヒューマンニーズに分類分けすることができる。 長期目標・短期目標の立てることができる。 歯科衛生診断を立てることができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 別途指示 (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第8回 12/1</p>	<p>成人歯科保健 I</p>	<p>【授業の一般目標】 産業従事者を対象にした事業所での歯科衛生の現状と問題点を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 事業所に勤務する歯科衛生士の役割について理解することができる。 事業所における歯科的現状を理解することができる。 事業所で働く多職種を述べるることができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 別途指示 (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第9回 12/8</p>	<p>成人歯科保健 II</p>	<p>【授業の一般目標】 歯磨剤の効果・効能を理解し、研究等に携わる方々の日常を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯磨剤の成分について理解することができる。 歯磨剤を有効に使用するための方法を述べるることができる。 歯磨剤の製作過程について理解することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 別途指示 (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第10回 12/15</p>	<p>成人歯科保健 III</p>	<p>【授業の一般目標】 補助用具の使用方法を含めた口腔清掃指導の実際について、実習を通して理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 口腔清掃用具の種類について理解することができる。 口腔清掃用具の使用方法を把握することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 別途指示 (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>岡元</p>
<p>第11回 12/22</p>	<p>老人歯科保健 I</p>	<p>【授業の一般目標】 介護保健の概要を理解し、予防介護としての口腔ケアの実際、口腔機能向上トレーニングについて理解することができる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 地域支援事業について理解することができる。 地域支援事業の対象者について理解することができる。 口腔機能向上トレーニングについて理解することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 別途指示 (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>

<p>第12回 1/12</p>	<p>老人歯科保健Ⅱ</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔清掃機能低下者、要介護者への歯科保健指導を行う為に、口腔ケアの知識・技能を身につける。 【行動目標 (SB0s)】 高齢者の口腔内の特徴について理解することができる。 口腔ケア用品について理解することができる。 口腔ケアの際の注意点、高齢者とのかかわり方について理解することができる。 【準備学習項目・時間】 別途指示 (45分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>岡元</p>
<p>第13回 1/22 (月) 1/19 診療補助と交換</p> <p>第14回 1/29 (月) 1/26 診療補助と交換</p> <p>第15回 2/2</p>	<p>学校歯科保健 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科保健教育の位置づけを理解し、実際の小学校・幼稚園での歯磨き指導に向けて集団指導の方法や留意点を修得する。 【目標 (SB0s)】 健康教育や保健指導の概要を説明できる。 保健教育について理解する。 保健教育の対象者を列記することができる。 健康教育の進め方を説明できる。 集団指導の方法を理解する。 媒体の種類について列記することができる。 対象者に合った媒体を選択することができる。 【準備学習項目・時間】 1 学年前期 ライフステージ (幼児期・学童期) を復習しておくこと。(45分) 【学習方略 (LS)】 フィジビリティスタディ</p>	<p>岡元</p>

科目名 「 歯科診療補助論Ⅳ 」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	和田 由紀子

学習目標 (GIO)	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な基本的知識、技能および態度を身につける。
担当教員	障害者歯科学：野本 たかと, 遠藤 眞美, 矢口 学 口腔外科学：濱野 美緒 学事委員：北村 彩 専任教員：和田 由紀子, 移川 明美, 中澤 広美, 小櫃 綾乃
教科書	前期に準ずる。
参考図書	最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本『歯科材料』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本『歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 新・歯科衛生士教育マニュアル『歯科補綴学』佐藤亨他編集 クインテッセンス出版(株) 最新歯科衛生士教本『高齢者歯科 第2版』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本『障害者歯科 第2版』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 歯科衛生士講座『歯科衛生士のための口腔外科学』古森孝英編著 永末書店
評価方法 (E V)	講義は定期試験, 実習は実習課題にて評価し, 履修態度と合わせて総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科診療補助を行うにあたっては, その内容を具体的に理解し, 診療の流れに沿った補助内容を具体的に理解し, 自分自身がおかれた立場をわきまえ, 業務に携わる責任がある。 2学年ではさらに専門的な各診療科における歯科診療補助について学んでいく。 1学年で学んだ基本的な知識・技能・態度を繰り返し訓練し, 臨床実習とリンクさせて, 手技を高めてほしい。手技を得る科目であるため, 毎時間を大切に臨む必要がある。医療人として体調管理を行い欠席しないよう心がけること。原則として欠席した学生への補講は行わない。 わからなかったことやできないことはそのままにせず, その都度解決できるよう積極的に質問すること。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/2(月)	歯科診療時の診療補助 ～補綴診療①～	【授業の一般目標】 補綴診療時の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 <ul style="list-style-type: none"> ・シリコン印象材の種類, 特徴を説明できる。 ・シリコン印象材の取り扱いができる。 【準備学習項目・時間】 <ul style="list-style-type: none"> ・シリコン印象材について十分復習して実習に臨むこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習	和田 移川 小櫃

<p>第2回 10/16(月)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～保存診療①～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存診療時の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 □酸化亜鉛ユージノールセメントの取り扱いができる。 □ストッピング、水硬性仮封材、サンダラックの特徴・取り扱いを説明できる。 □ブローチ綿栓の取り扱い、器具の受け渡しタイミングよくできる。 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』該当箇所 (60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>和田川 和移</p>
<p>第3回 10/23(月)</p> <p>第4回 10/30(月)</p>	<p>歯科診療の診療補助 ～補綴診療②～</p>	<p>【授業の一般目標】 補綴診療時の印象採得の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・補綴診療の診療補助であるアルジネート印象採得を患者に配慮して実施できる。 【準備学習項目・時間】 概形印象採得について復習して臨むこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>和田川 和移小</p>
<p>5回 11/6</p> <p>第6回 11/13(月)</p> <p>第7回 11/20(月)</p>	<p>歯科診療の診療補助 ～補綴診療③～</p>	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの作製ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. プロビジョナルレストレーションの目的が説明できる。 2. プロビジョナルレストレーションの作製ができる。 【準備学習項目・時間】 プロビジョナルレストレーションについてよく復習しておくこと。歯科補綴学5-2, 新歯科衛生士教本『歯科診療補助』Ⅱ編2章Ⅳ参照。(60分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>北村 和田</p>
<p>第8回 11/27(月)</p>	<p>歯科診療の診療補助 ～補綴診療④～</p>	<p>【授業の一般目標】 補綴診療時のプロビジョナルレストレーション仮着の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・テンポラリーバック、テンポラリーセメントの取り扱いができる。 ・模型上にてプロビジョナルレストレーションの仮着ができる。 【準備学習項目・時間】 仮着材について十分に復習して臨むこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>和田川 和移</p>
<p>第9回 12/4(月)</p>	<p>歯科診療の診療補助 ～補綴診療⑤～</p>	<p>【授業の一般目標】 補綴診療時の合着の診療補助ができるようになるための知識・術能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・合着材の取り扱いができる。(乳歯冠使用) 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』4章5-2を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>和田川 和移</p>

<p>第10回 12/11(月)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～高齢者歯科～</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者への歯科診療時の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・誘導介助ができる。 <input type="checkbox"/>車イス利用高齢者がユニット移乗の際の介助ができる。 【準備学習項目・時間】 新歯科衛生士教本『歯科診療補助』 III編6章IIを読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>和田川 移中 澤</p>
<p>第11回 12/18(月)</p> <p>第12回 1/15(月)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～障害者歯科～</p>	<p>【授業の一般目標】 障害者歯科治療時の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・フォーハンドシステムの留意点を列挙できる。 ・フォーハンドシステムでのバキューム操作ができる。 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』 3章②-2を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>野本 遠藤 口 矢</p>
<p>第13回 1/19(金)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～口腔外科①～</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔外科診療の補助ができるようになるために知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・単純抜歯の使用器具・術式が列挙できる。 <input type="checkbox"/>複雑抜歯の使用器具・術式が列挙できる。 <input type="checkbox"/>抜歯時の患者対応について説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯科衛生士講座『歯科衛生士のための口腔外科学』第3章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義 <u>*1月22日(月)は歯科保健指導論に振り替える。</u></p>	<p>濱野</p>
<p>第14回 1/26(金)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～口腔外科②～</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔外科診療の補助ができるようになるために知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・外来手術について説明できる。 <input type="checkbox"/>止血法について説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯科衛生士講座『歯科衛生士のための口腔外科学』第3章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義 <u>*1月29日(月)は歯科保健指導論に振り替える。</u></p>	<p>濱野</p>

<p>第15回 2/5 (月)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～保存診療②～コンポ ジットレジンの取り扱い～ 表面麻酔薬による疼痛 の緩和</p>	<p>【授業の一般目標】 保存診療時の診療補助ができるようになるためにコン ポジットレジンの取り扱いに関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・コンポジットレジンの取り扱いについて説明でき る。 ・表面麻酔薬による疼痛の緩和について説明できる。 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』4章6, 3章 4を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>和田</p>
-------------------------	---	---	-----------